

タイ国
ウボン職業訓練センター
アフターケア調査団報告書

平成9年6月

国際協力事業団
社会開発協力部

序 文

タイ王国は雇用機会の拡大と都市・農村間の所得格差是正を政策の大きな柱とし、地方部における職業訓練を重視してきた。特に、タイでも最貧の地域とされる東北部の訓練ニーズに応えるため、タイ国政府は「ウボン職業訓練センター」の設立を計画し、日本に協力を求めてきた。

これを受けて我が国は、1987年に無償資金協力によりウボン職業訓練センター（UBISD）を建設した。さらに1988年10月から東北タイ南部地域の技能労働者育成を図るとともに、中央職業訓練センターで訓練内容・指導技法の見直しと教材開発を行い、全国の訓練指導員のレベルアップを図ることを目的とする、プロジェクト方式技術協力を実施した。同協力は所期の成果を上げて1993年9月に、予定どおり終了した。

しかしながら、同プロジェクトの終了から3年あまりを経た今般、タイ国政府は改めて、現在のニーズにより合致した訓練コースを実施するための訓練内容の見直しと、訓練機材更新について、我が国の協力を求めてきた。これを受けて当事業団は1997年（平成9年）6月1日から同12日まで、国際協力事業団国際協力専門員 原晃氏を団長とするアフターケア調査団を派遣し、協力の妥当性及び協力計画に関する調査、協議を行った。

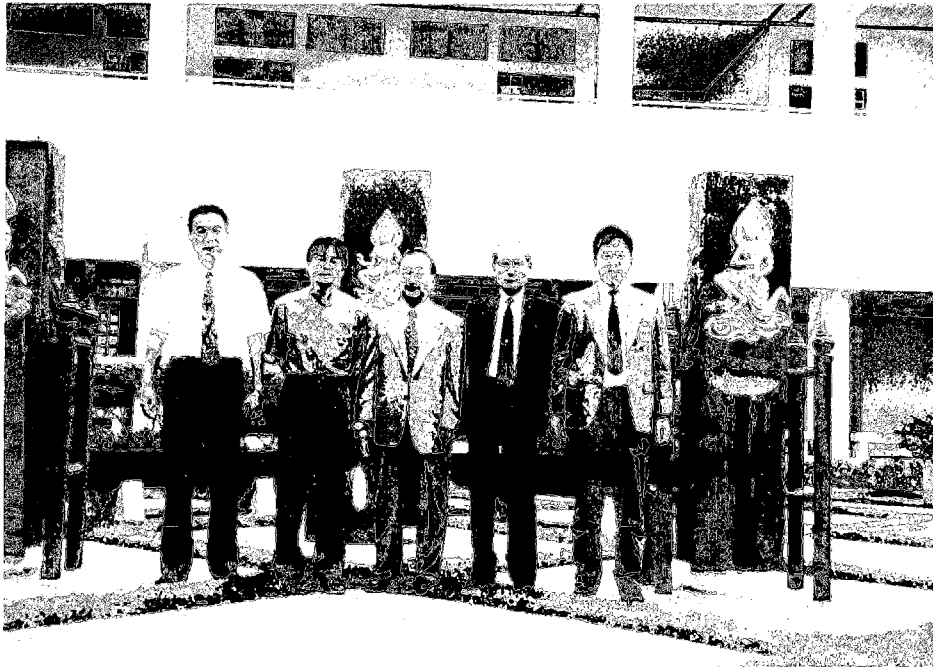
以下は、同調査団の調査及び協議結果をまとめた報告書である。

ここに、本調査にご協力頂いた内外の関係各位に厚く御礼申し上げるとともに、今後の更なるご支援をお願いする次第である。

平成9年6月

国際協力事業団

社会開発協力部部長 神田道男



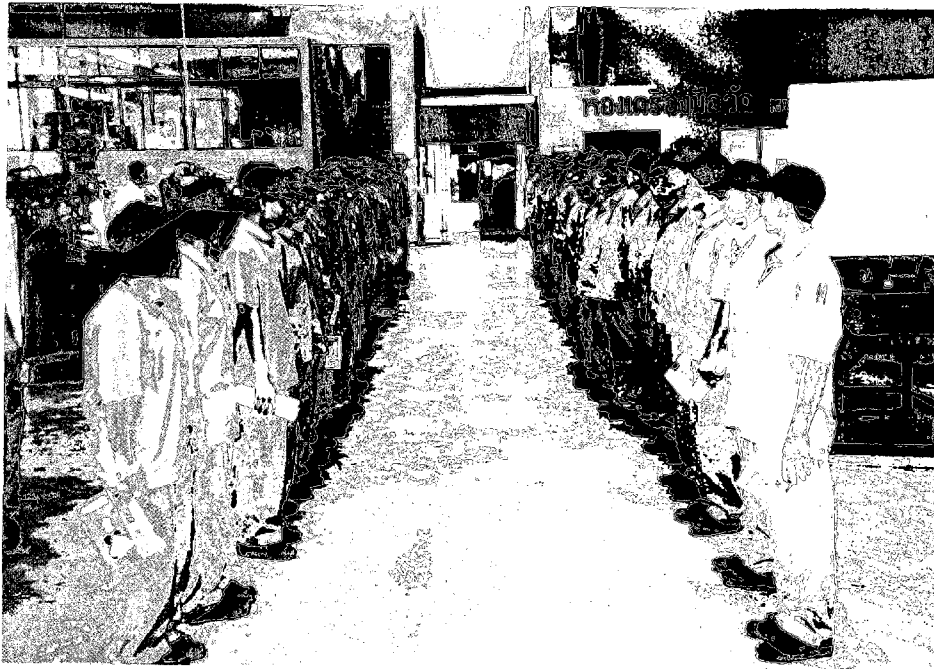
左から、竹間団員、大竹団員、原団長、後藤専門家、岩元団員



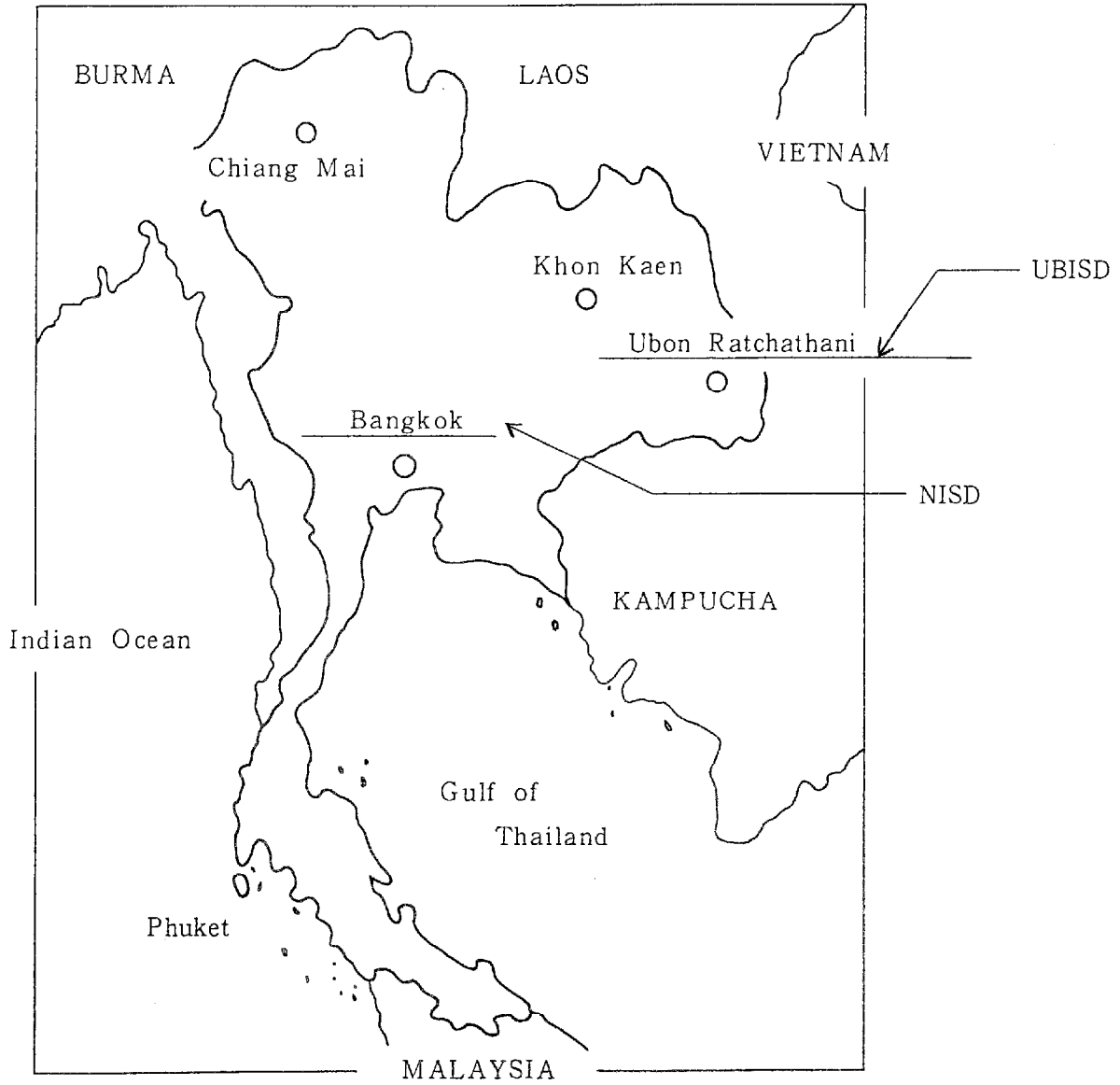
UBISDでの協議



卒業生の就職状況の聞き取り調査（ウボンラチャタン、TOYOTA）



UBISD での訓練風景



MAP OF THAILAND

位置図

目 次

序 文
写 真
位置図
略 語

1 . アフターケア調査団の派遣 -----	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的 -----	1
1 - 2 調査団の構成 -----	2
1 - 3 調査日程 -----	3
1 - 4 主要面談者 -----	3
2 . 調査結果要約及び提言 -----	5
2 - 1 調査結果要約 -----	5
2 - 2 提言 -----	5
3 . 協議結果概要 -----	7
3 - 1 労働・社会福祉省 -----	7
3 - 2 ウボン職業訓練センター -----	7
3 - 3 首相府技術経済協力局（DTEC） -----	7
4 . ウボン職業訓練センターの現況 -----	9
4 - 1 協力終了後の自立発展性 -----	9
4 - 2 カウンターパートの定着状況 -----	17
4 - 3 施設・機材の管理運営状況 -----	18
4 - 4 入学者選抜方法及び卒業生の就職状況 -----	20
5 . 中央職業訓練センターの現況 -----	24
5 - 1 中央職業訓練センターの組織改革 -----	24
5 - 2 カリキュラム・教材の地方センターへの普及状況 -----	24
5 - 3 カウンターパートの定着状況 -----	25
5 - 4 施設・機材の管理運営状況 -----	26

6 . アフターケア協力の内容 -----	27
6 - 1 要請内容 -----	27
6 - 2 アフターケア協力の必要性 -----	27
6 - 3 専門家派遣、研修員受入、機材供与計画 -----	27
6 - 4 今後のスケジュール -----	29

付属資料

1 . ミニッツ (M/M)-----	33
2 . 労働・社会福祉省技能開発局 (DSD) の事業概況 (仮訳)-----	37
3 . ITPD における指導員訓練コースの実施計画及び実績 (1995 ~ 1996)-----	48
4 . UBISD の事業概況 -----	52
5 . UBISD の養成研修実績及び予算の推移 (1992 ~ 1996)-----	65
6 . 本邦研修を受けたカウンターパートの現配属先 -----	74
7 . アフターケア協力要請書 -----	75
8 . アジア開発銀行の技能開発プロジェクト概要 -----	109

略 語

DTEC	Department of Technical and Economic Cooperation (首相府技術経済協力局)
MOLSW	Ministry of Labour and Social Welfare (労働・社会福祉省)
DSD	Department of Skill Development (技能開発局)
ITPD	Institute for Training Personnel Development (指導員養成センター)
IPD	Institute for Personnel Development (人材訓練センター)
NISD	National Institute for Skill Development (中央職業訓練センター)
UBISD	Ubon Institute for Skill Development (ウボン職業訓練センター)
KISD	Khon Kaen Institute for Skill Development (コンケン職業訓練センター)
RISD	Regional Institute for Skill Development (地域職業訓練センター)
PCSD	Provincial Center for Skill Development (県技能開発センター)
SDF	Skill Development Fund (技能開発基金)
NESDP	National Economic and Social Development Plan (経済社会開発計画)
ADB	Asian Development Bank (アジア開発銀行)
PIU	Project Implementation Unit (プロジェクト実行ユニット - ADB Project)

1 . アフターケア調査団の派遣

1 - 1 調査団派遣の経緯と目的

タイ王国は雇用機会の拡大及び都市・農村間の所得格差の是正を政策の大きな柱とし、地方部での職業訓練を重視してきた。特に、タイでも最貧の地域といわれる東北部での訓練ニーズに応え、同地域の開発を推進するため、タイ政府は、同国内の8番目の職業訓練センターとしてウボン職業訓練センター（UBISD）を設立することとし、我が国に協力を要請してきた。

これを受けて、我が国は1987年、無償資金協力によりウボン職業訓練センターの建設を行うとともに、1988年10月から1993年9月まで同センター及び中央職業訓練センター（NISD）を拠点としてプロジェクト方式技術協力を実施した。

「タイ・ウボン職業訓練センター」プロジェクトは、ウボン職業訓練センターにおいて東北タイ南部地域での技能労働者の育成を図るとともに、中央職業訓練センターにおいて訓練内容・指導技法の見直し及び教材開発による全国の訓練指導者のレベルアップを図ることを目的に実施され、所期の成果を得て予定どおり終了している。

しかしながら、同プロジェクトの終了から3年あまりを経て、タイ政府は、現在のニーズにより合致した訓練コースの実施のための訓練内容の見直し及び訓練機材の更新が必要であるとして、今般ウボン職業訓練センター及び中央職業訓練センターへのアフターケア協力を要請してきた。

これを受けて、本調査は、ウボン職業訓練センター及び中央職業訓練センターの活動の状況及び今後の活用計画を勘案しつつ、アフターケア協力に対するタイ側要請内容の妥当性を検討し、専門家派遣、機材供与、研修員受入等の日本側投入計画を含めた本件協力計画案を策定することを目的として実施された。

具体的には、以下の事項について、タイ側関係機関との協議及び関連調査を実施し、主要事項をミニッツ（M/M）として取りまとめた。

(1) ウボン職業訓練センターの活動状況

- 1) 協力終了後の自立発展性
- 2) カウンターパートの定着状況
- 3) 訓練コース実施実績及び計画
- 4) 施設の管理運営
- 5) 機材の管理運営
- 6) センター予算
- 7) 訓練修了者の就業状況
- 8) ウボン職業訓練センターの役割と今後の活用計画（特に南南協力との関係）ほか

(2) 指導員研修所等の活動の状況

- 1) 協力終了後の教材開発、指導技法の活用状況
- 2) カウンターパートの定着状況
- 3) 関連訓練コース実施実績及び計画
- 4) 施設の管理運営
- 5) 機材の運営管理
- 6) センター予算ほか

(3) タイにおける技能労働者の育成事業の状況

- 1) 職業訓練事業実績及び計画
- 2) 中央職業訓練センターの活動
- 3) 地方職業訓練センターの活動
- 4) 訓練ニーズの動向ほか

(4) アフターケア協力の妥当性・必要性の検討及び協力計画案の策定

- 1) 要請内容の確認
- 2) 専門家派遣、機材供与、研修員受入計画の内容検討
- 3) 協力計画案の協議、確認

1 - 2 調査団の構成

担当分野	氏 名	所 属
団長 / 総括	原 晃	国際協力事業団国際協力専門員
協力企画	大竹 祐二	国際協力事業団社会開発協力部社会開発協力第一課課長代理
機械系	竹間 宏次	千葉職業能力開発短期大学校生産技術課講師
電気・電子系	岩元 敏郎	北九州職業能力開発短期大学校情報技術課講師

1 - 3 調査日程

日順	月 日	曜日	時間	移 動 及 び 業 務
1	6月1日	日	15:15 15:30	東京 バンコク(移動)バンコク着(JL717)：原、竹間、大竹 福岡 バンコク(移動)バンコク着(JL649)：岩元
2	2日	月		JICA事務所打合せ、日本大使館表敬、 首相府技術経済協力局(DTEC)表敬
3	3日	火		労働・社会福祉省との協議、関連施設視察
4	4日	水		バンコク ウボン(移動) ウボン職業訓練センターとの協議
5	5日	木		ウボン職業訓練センターとの協議
6	6日	金		ウボン職業訓練センターとの協議、関連企業訪問
7	7日	土		関連資料収集 ウボン バンコク(移動)
8	8日	日		団内打合せ
9	9日	月		労働・社会福祉省との協議、関連情報収集
10	10日	火		ミニッツ署名・交換、関連資料収集
11	11日	水	22:30	JICA事務所報告、関連資料収集 バンコク(JL718)
12	12日	木	10:25	東京(移動)：原、竹間、大竹 バンコク(JL648) 福岡(移動)：岩元

1 - 4 主要面談者

(1) 労働・社会福祉省 (Ministry of Labour and Social Welfare)

1) 技能開発局 (Department of Skill Development (DSD))

Mr. Som Suppanakorn	Director General
Mr. Kirasak Chancharaswat	Deputy Director General
Mr. Anan Siripat	Director, International Affairs Division
Ms. Weena Pakawang	Director, Institute for Training Personnel Development
Mr. Maliwan Wan-A-Pa	Chief, Institute for Training Personnel Development
Ms. Patana Bhandhufalck	Technical Studies & Planning Division

2) ADB Project Implementation Unit

Mr. Somchart Dheva-Varodom	Project Manager
----------------------------	-----------------

3) JICA 個別派遣専門家

後藤 博俊	労働社会政策
大久保 久海	職業能力開発

4) ウボン職業訓練センター (UBISD)

Mr. Kasem Vises	Director
-----------------	----------

Mr. Suvit Chodchamrat	Chief, General Administration Section
Mr. Sanit Sitabutr	Chief, Electrical & Electronics Branch
Mr. Wichai Piewsa-Ard	Chief, Machinery Branch

(2) 首相府技術経済協力局 (DTEC, Department of Technical & Economic Cooperation)

Ms. Chutima Wiseswitayawet	Chief, Japan Sub-Division External Cooperation Division I
Ms. Supranee Liamcharoen	Chief, Monitoring & Evaluation Sub-Division, Planning Division

(3) 在タイ日本大使館

木暮 康二	一等書記官
-------	-------

(4) JICA タイ事務所

隅田 栄亮	所長
安達 一	所員
田和美代子	所員

(5) ウボン地域関連企業

Mr. Teerachai Jungwiwattanaporn	Manager, TOYOTA UBONRATCHATANI LTD., PART
---------------------------------	--

2 . 調査結果要約及び提言

2 - 1 調査結果要約

タイ側は、ウボン職業訓練センター（UBISD）及び労働・社会福祉省技能開発局（DSD）の指導員養成センター（ITPD）＝中央職業訓練センター（NISD）の指導員養成部門が独立＝の両機関ともにアフターケアプログラムに過大な期待を持っていた。そのため、先方の要望には、アフターケアの趣旨にあわない項目が多く含まれていた。本調査団は、各機関でプログラムの趣旨を説明した上で、先方担当者とともにアフターケアの趣旨に沿った現実的な計画の策定を行った。

その結果UBISDでは、機材の修理と更新及び研修計画管理、訓練指導技法、機材保守修理の3分野にわたる専門家の派遣要請がなされた。ITPDではパソコン研修に使用しているパソコン及び印刷機の更新の要請がなされた。TTDD（研修技術開発部、教材開発部門がNISDから独立）からは、機材の要請はなかった。UBISDからの専門家要請については、UBISDでの活動を踏まえた各分野のセミナーを実施したいとの希望があり、その実施準備を専門家の活動に含めることとした。

また機材保守・管理、研修計画管理及び訓練指導技法の管理面での知識・技能を向上させるために管理者レベルの人材を日本で研修して欲しいとの要望もなされた。先方は、2名を強く要望したが、調査団としては1名の枠である旨回答した。

2 - 2 提言

タイ政府は第8次経済社会開発計画（NESDP）で人的資源開発を1つの重要項目として掲げ、急激に開発の進む同国経済で必要とされている人材の養成に重点を置いている。DSDも技能開発プログラムプランとして1995年から2001年までの計画をつくり、技能労働者養成を政策の柱としている。この計画に沿って1996年9月、アジア開発銀行（ADB）より約1.5億ドルの借款を受け、技能者開発を総合的に実施する予定である。

ADBプロジェクトでは地域センターの機材の充実があげられている。この中にUBISDの機材の新規購入は含まれるが、現在使われている機材の修理更新は含まれない。したがって、本件アフターケアプログラムによる現存機材の修理及び更新のニーズが存在し、この実施による効果は大きいと思われる。

他方、ITPDの説明では、同機関はADBプロジェクトの対象に含まれていないとのことであったが、ADBのプロジェクトペーパーによれば、DSDの組織改革が提言されており、その提言においてNISDと並ぶ研修実施機関として人材協力センター（IPD）の設立がうたわれている。IPDは指導員のみならず各ISD（職業訓練センター）の職員全体の研修機関と位置づけられており、ITPDを拡大したものと考えられる。このようにITPD自体の将来像は流動的であり、ITPDへの協力は

限られた範囲にすべきであるとの判断から、本アフターケアプロジェクトの機材は、ITPDに対してはパソコン及びプリンターの更新にとどめ、UBISDの機材補修・更新に重点を置くこととした。

なお、ADBプロジェクトは、タイ国の技能開発を総合的かつ大々的に進めるものであり、今後の同国への技能開発分野への協力にあたっては、同プロジェクトとの協用に十分留意する必要がある。特に同プロジェクトは、民間セクターとの協用及び参加についての協用がうたわれていることから、アフターケア協用を進めるにあたっては、事前にADBプロジェクトの概要を調査すると同時に、プロジェクト実行ユニット（PIU）との協用が必要である。

注）本件については、1997年11月よりDSDに個別派遣専門家が派遣されており、ADBのPIUとの調整は同専門家により行われている。

3 . 協議結果概要

3 - 1 労働・社会福祉省

調査団は、ウボン職業訓練センタープロジェクトに関連した部署を訪問して、供与機材の活用を含めた現在の活動状況を聴取するとともに、労働・社会福祉省技能開発局（DSD）の関係各部と数日にわたり協議を実施した。DSD側が、必ずしもアフターケア協力の枠組みや対応可能な内容を理解していなかったこともあり、調査団から改めてアフターケア協力の趣旨を説明した。タイ側からは、日本側に提出した要望内容はあくまでも案として作成したものであり、調査団との協議に基づき修正したいとの説明があった。調査団の判断としても、ウボン職業訓練センターからの要望内容は現実的なものであるものの、技能開発局指導員養成センター（Institute for training Personnel Development: ITPD）から提出された要望案は過大な内容であり、またアフターケア協力で対応不可能な内容も含まれていたため、その妥当性・必要性などについて協議を重ねた結果をミニッツとして取りまとめた。

しかしながら、ITPDからあった要望内容は、現在のDSDのニーズを反映したものであり、全国の職業訓練指導員の質の向上を担うITPDの役割を考えれば、日本の技術協力として現在の個別専門家ベースでの協力に加えて他のスキームでの対応が適当であるかどうかは別として、DSDはITPDの機能強化及び指導員訓練コースの運営管理強化などのための何らかの対応をする必要に迫られている。

3 - 2 ウボン職業訓練センター

ウボン職業訓練センター（UBISD）においては、同センターからの要望に基づき、所長からの概要説明、各課長等からの状況の聴取及び関連施設・機材の調査を実施した。JICAタイ事務所の事前の説明もあって、UBISDからの要望内容は現有機材のスペアパーツの供給あるいは訓練ニーズに対応した機材の更新が中心となっており、アフターケア協力についても原則的な理解を有していると思われたが、調査団から再度要点説明を行った。

UBISDの要望事項のうち、アフターケア協力の対象となりうる機材供与に関しては、今回のミニッツには添付しなかったものの、機材リストを作成し、短期専門家の要望とあわせて確認を行った。

3 - 3 首相府技術経済協力局（DTEC）

DTECとの協議において、調査団はアフターケア協力の枠組みなどを説明するとともに、今後の協力を依頼した。DTECは本件協力についての十分な理解を示しており、今後の要請フォームの提出等の事務手続上の迅速な対応についても特段支障がないと思われる。しかしながら、DTEC

としては、労働・社会福祉省から DTEC 宛に提出された要請書案は調査団が説明したアフターケア協力の枠組みを大きく越えたものであるとの認識を示し、再度労働・社会福祉省と協議して内容の改訂を行いたいとして、今回の調査結果を報告してほしいとの申し出があった。これに対し、調査団は、この旨を労働・社会福祉省技能開発局に伝え、ミニッツの内容も含め DTEC へ報告するとともに、適宜必要な協議・調整を行うよう依頼した。

4 . ウボン職業訓練センターの現況

4 - 1 協力終了後の自立発展性

ウボン職業訓練センター(UBISD)は、JICAプロジェクト終了後も終了時点でのレベル、あるいは、それ以上のレベルを維持している。年間の修了生数は、JICAプロジェクト終了時の約2倍を記録している。UBISDのパンフレットによれば就職前訓練の生徒数が急激に増加しているが、ここには、還俗前の僧侶、刑期終了前の受刑者、除隊予定者など、JICAプロジェクトで関与しなかった特別訓練を含んでいることがわかった。これら特別な訓練については、期間も短く、カリキュラムに企業内の実務訓練が含まれない。これらの特別訓練を除き、日本側協力期間中から行っていた長期訓練の卒業生数の推移は表4-1のとおりである。

表4-1 UBISDの年間卒業生数

年 度	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
自動車学科 小計	62	66	67	70	64	84	194	220
自動車修理工	26	29	31	35	32	43	50	58
農業機械修理工	18	17	17	18	16	22	71	47
オートバイ修理工	-	-	-	-	-	-	66	86
板金塗装工	18	20	19	17	16	19	7	29
機械学科 小計	78	90	90	85	84	89	141	155
機械工	37	42	40	40	40	42	62	55
薄板溶接	41	48	50	46	44	11	-	-
工作溶接工	-	-	-	-	-	14	36	56
セミ自動溶接工	-	-	-	-	-	22	43	44
電気学科 小計	49	52	49	47	38	57	114	173
電気工	16	18	21	17	17	26	49	80
空調冷凍庫修理	17	16	14	16	12	18	34	50
電子工	16	18	14	14	9	13	31	43
建設土木科 小計	75	80	68	84	82	50	70	91
家具製作工	20	21	17	16	14	8	1	16
塗装工	20	21	17	21	26	17	25	34
配管工	22	18	6	8	7	5	2	6
陶磁器製作	13	20	14	9	12	7	8	5
陶磁器絵	-	-	-	13	10	3	14	16
現場管理者	-	-	14	17	13	10	20	14
合 計	264	288	274	286	268	280	519	639

上記表4-1の1989～91年は終了時評価調査団報告書Table 1-3、1992年以降は本調査団による収集もの。

表4-1によれば、日本からの協力期間中は、コース及び生徒数はほとんど一定であるが、1994年度からコースの改編及び生徒数の変更が大幅に行われている。UBISD全体の卒業生の推移を図4-

1に、学科別の推移を図4-2、3、4、5に示す。

たとえば自動車学科における卒業生の推移(図4-2)は、1994年度までは、指導科目の卒業生数にほとんど変化が見られなかったが、板金塗装を除いて、急速に増加している。しかも大幅に増加した科目が、農業機械修理と新設されたオートバイ修理工であることは、この地方のニーズを考えると納得できる。また、自動車修理の部門は、施設、機材面で急速な増加が難しいためか、増加の速度は緩やかである。

本調査団は、ウボンにある日本の自動車会社の支店を訪問し、同社で雇っているUBISDの卒業生についての意見を聴取したところ、評判は大変良かった。また、トヨタでは、1年以内にウボン地域に新たに支店を設ける予定で、そのため約100名の修理工を必要としている事情もあるので、UBISDの実習生受入れを歓迎し、また卒業生の受入れを期待しているとのことであった。いすゞ自動車でも同様であり、今年度10名の実習生を受入れ、できれば全員を雇用したいとのことであった。少なくとも自動車修理関係の卒業生の就職については、生徒が望みさえすれば、地元での就職先は十分にある。したがって、上記の大胆なコース改編、生徒数の増減は、この地域のニーズに合致して行われていることが自動車学科だけであるが、確認された。

また、建築関係は家具製作、塗装工など地域のニーズはあるものの、若い人達の興味をひかない傾向にあるため、生徒の募集に苦労している。労働・社会福祉省としては、人気はないがニーズのある建築関係の学科に奨励金を出して生徒を集めている。またUBISDは、地域の貧困層の弟子で義務教育を中途退学した子供に、半日の基礎教育と半日の職業訓練を実施するなどの活動にも加わっている。

このような生徒数の急激な増加は、指導員の数、限られた施設から来る訓練の質に影響を及ぼす心配があるが、センターの説明では、二部制の授業及びコースごとの訓練期間の見直しにより、指導員及び施設を有効に利用しているとのことであった。また、後述の移動訓練で見られるように、民間業者を訓練指導員として契約で雇っている場合もある。

上述のごとく、長期訓練のほかに還俗前の僧侶、除隊予定者、刑期終了前の受刑者等への特別訓練を含めた就職前訓練生(タイの労働・社会福祉省の定義による)の数は年々増加しており、地域の社会福祉的な役割を担っている。これらの特別訓練生は訓練後、所属機関により就職の斡旋が行われるので、センターは訓練を担当するのみである。

在職者のための短期訓練も1995年以降、急速に増加している。移動訓練も1991～94年平均の7倍にも増えている。

調査団は、ウボン市から30km程離れている村で実施中の移動訓練を視察する機会を持った。指導員(指導員の業務を民間業者が請け負っている)の下、村の青少年が6週間のオートバイ修理の訓練中であった。村にある故障している中古バイクを集めて、修理をしていた。小さな小屋に椅子を並べ、黒板を付けただけの教室と軒の下のワークショップという粗末な訓練センターであ

るが、訓練生達は熱心であった。

指導員によれば、訓練生は終了後、グループでバイクの修理業を始めたいとの強い意思を持っているとのことであった。DSDでは技能開発基金を開設しており、活動の詳細は今後詰める模様であるが、このようなグループが村で小さなバイク修理業を始めるための低利融資ができれば、職業訓練が村落開発に有効に利用されることとなる。

以上、UBISDは、プロジェクト期間よりさらに広く深く地域に貢献するようになってきている。

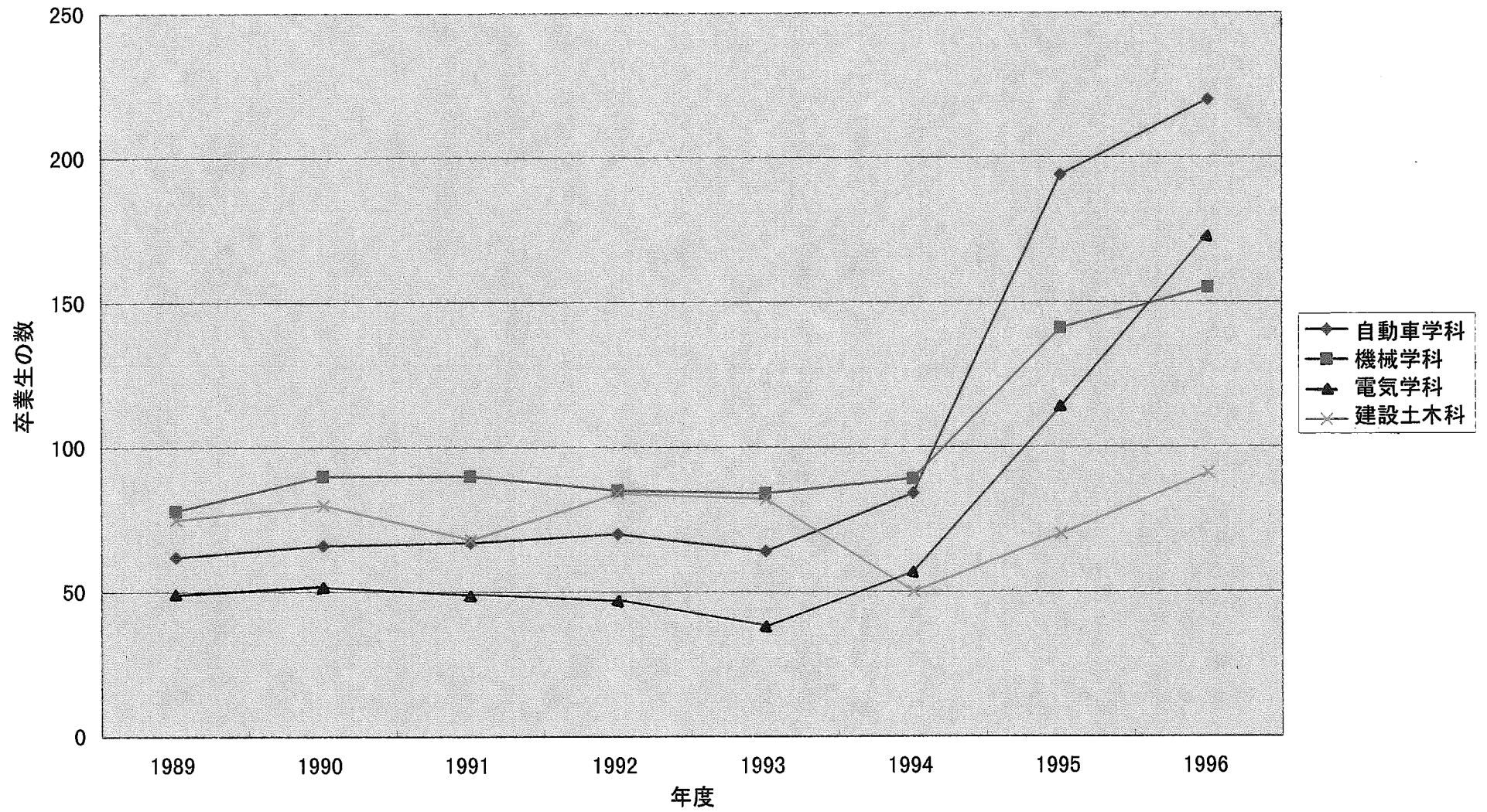


図 4-1 UBISD 卒業生数の推移

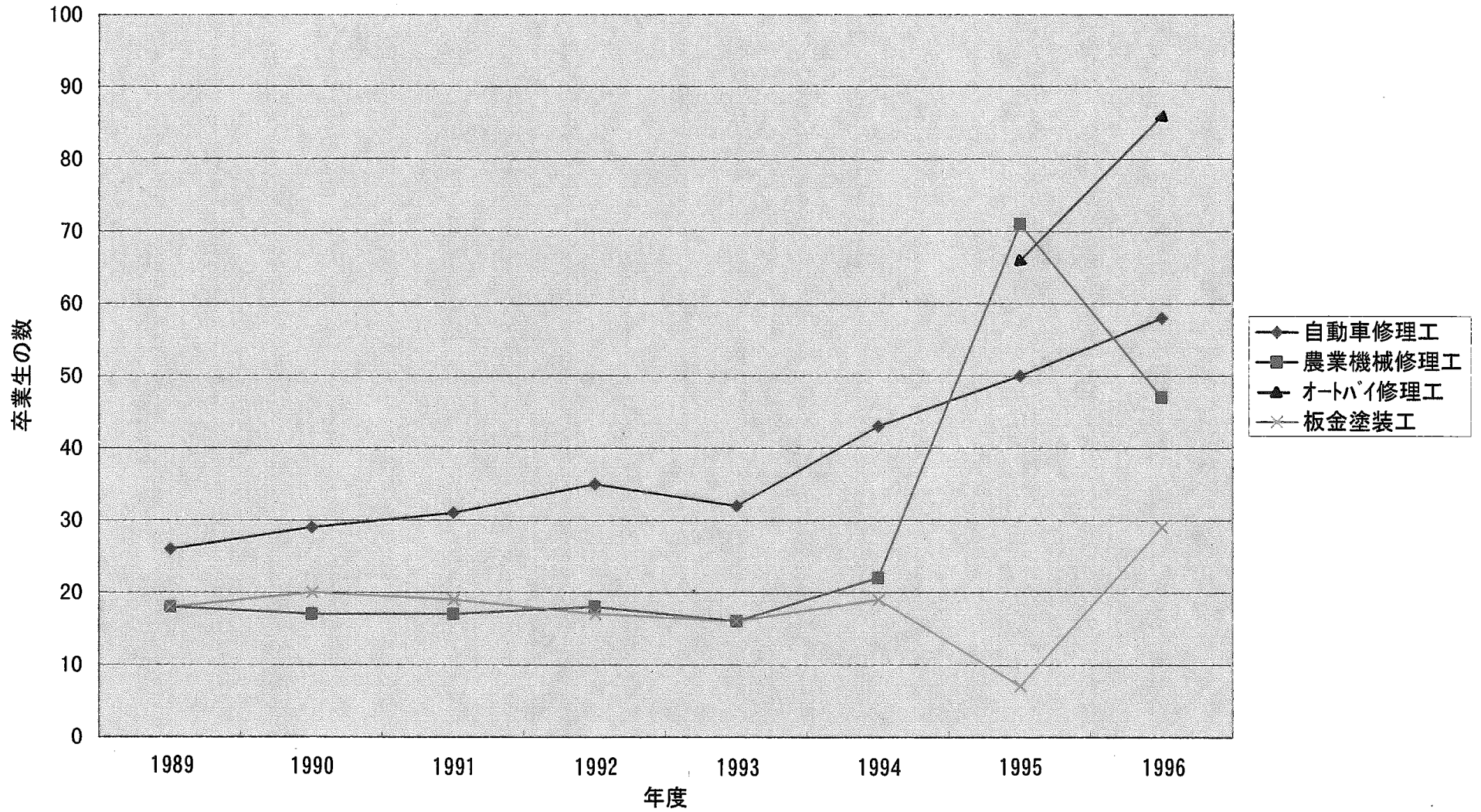


図 4-2 自動車学科卒業生数の推移

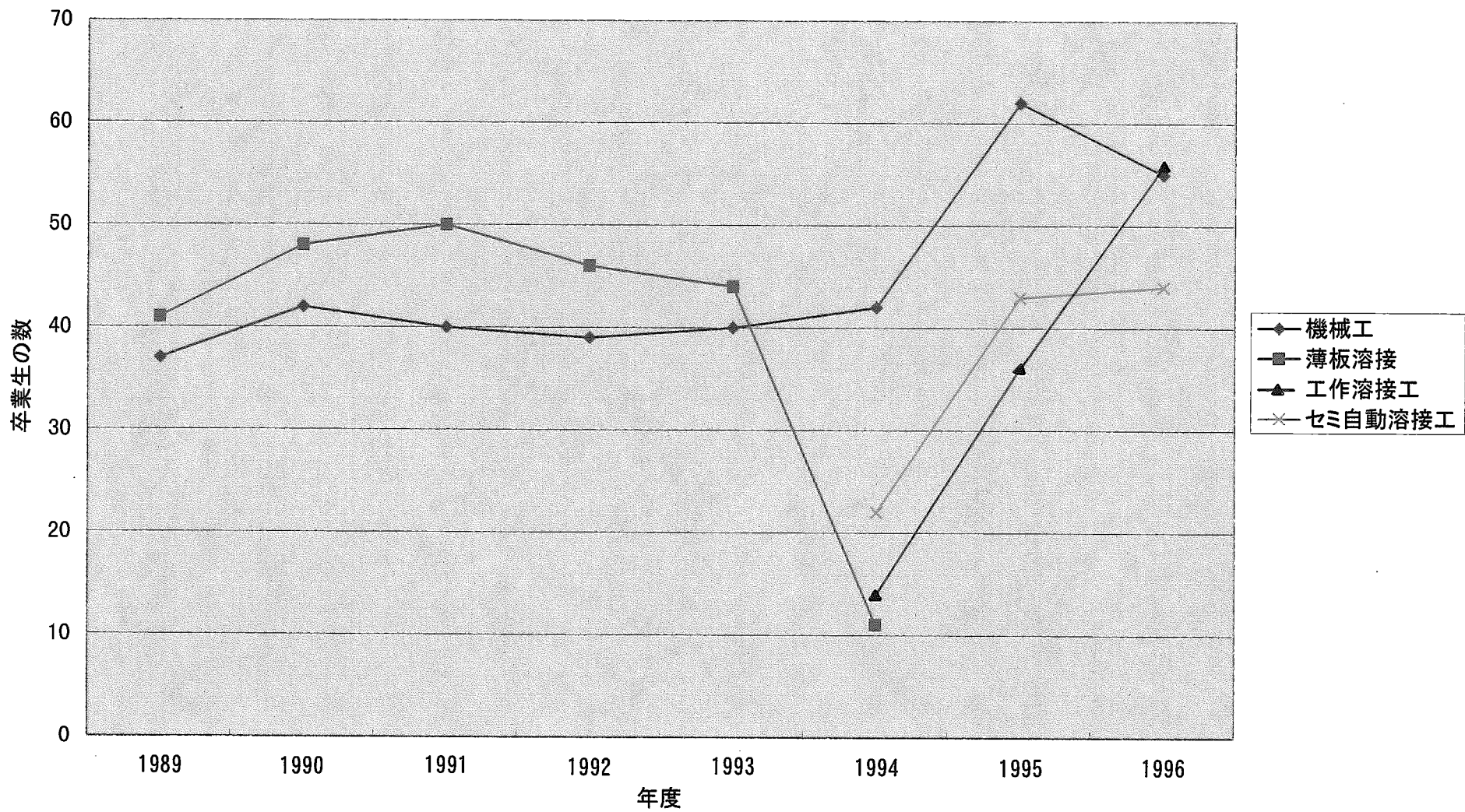


図 4-3 機械学科の卒業生数の推移

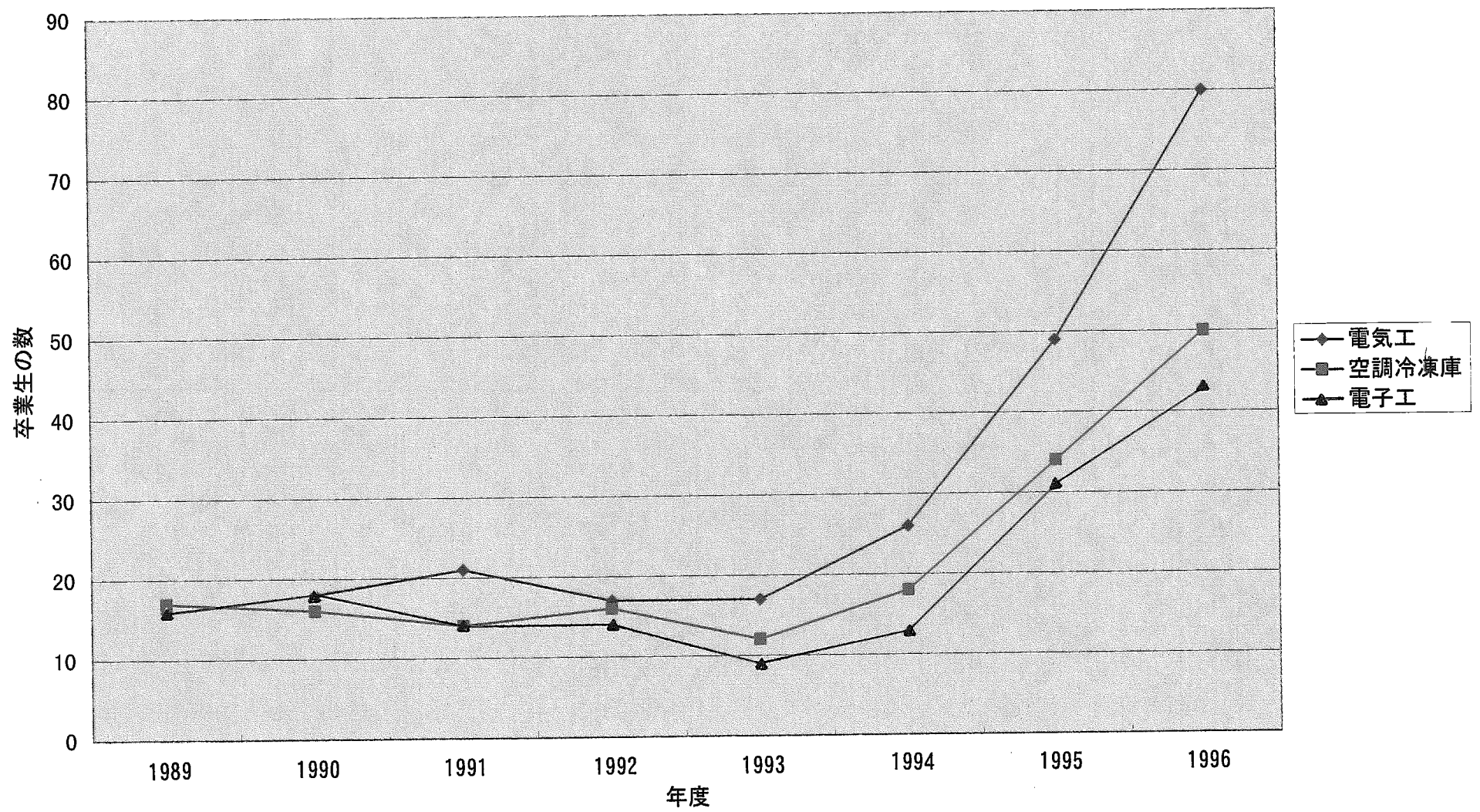


図 4-4 電気学科卒業生数の推移

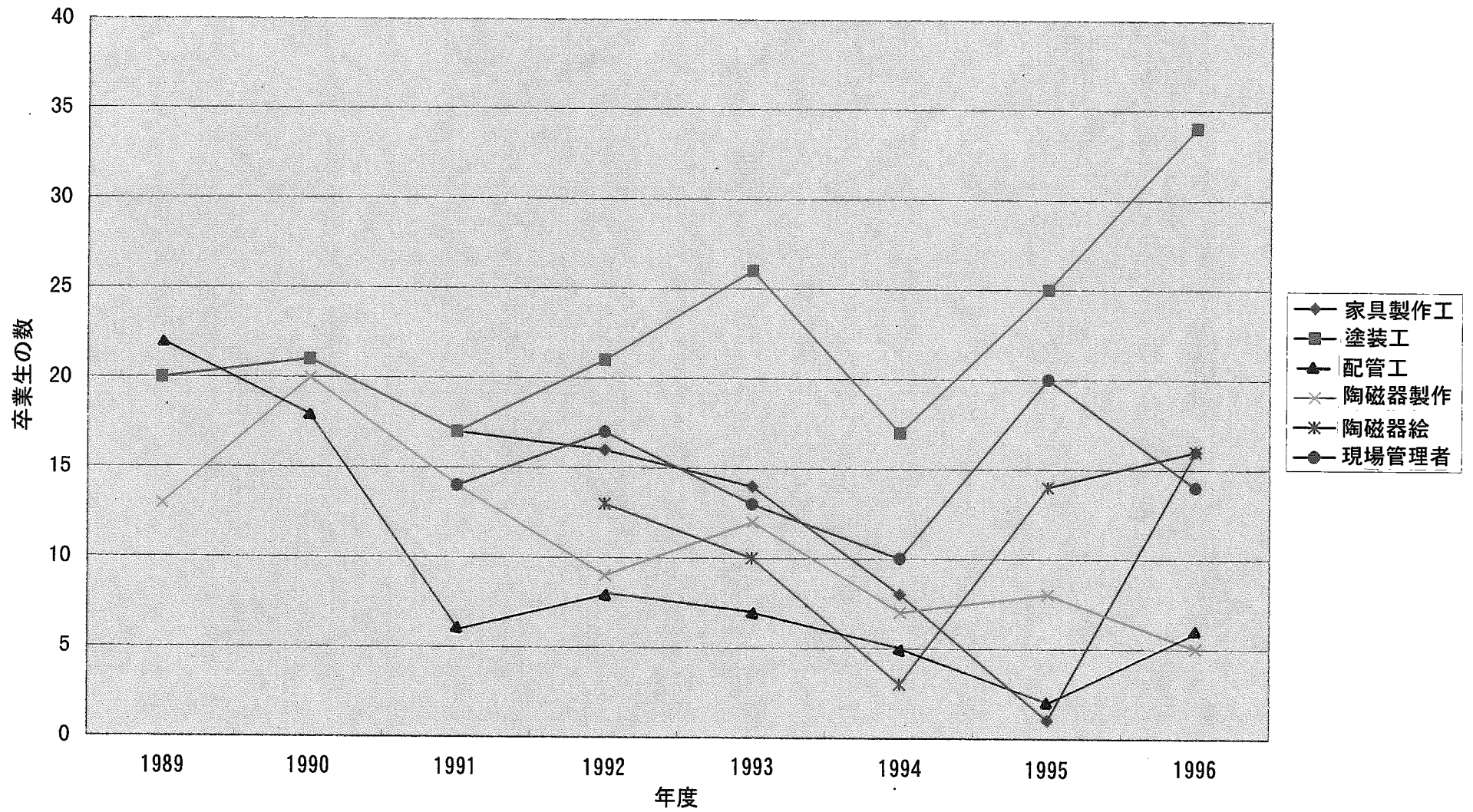


図 4-5 建設土木科卒業生数の推移

4 - 2 カウンターパートの定着状況

カウンターパートのUBISDでの定着率は高いとはいえない(1992年度の職員の28%がUBISDに定着している)。しかしながら、UBISDを離れたものの多くは労働・社会福祉省内の人事異動で労働省傘下の他の機関(DSD本部、NISDを含む他のISD、県事務所での職員兼相談員等)に移っており、完全に労働・福祉省傘下の機関から離れたのは主に転職やタイピストだけである。

したがってUBISDに残っている職員は少ないものの、異転した多くのカウンターパートは、DSD本部、他の地域センター及び労働事務所などで活躍している。UBISDへの協力と並んで他の機関への普及を進めているために、カウンターパートが他の機関に異動しているという事実は肯定的に考えると、上記の普及が人を通じて進められているとも考えられる。

今後、ADBのプロジェクトによって他のセンターの機材、教材が充実するにつれ、元UBISDカウンターパートも日本の専門家からの技術移転を活用する場ができるものと思われる。UBISDに残っているカウンターパート及び他の労働・社会福祉省機関に異動した元カウンターパートの動向の例を表4-2、表4-3に示す。

表4-2 UBISDに残っているカウンターパートの例

氏名	1992年当時のポスト	現在のポスト
Mr. Suwit Chodchamrat	Section Chief in Plant Trng	Branch Chief, Admin
Miss. Darunee Panpetch	Section Chief, Recruit.	Branch Chief, Planing
Miss. Lumduan Meendee	Section Chief, Special Trng	Section Chief, Recruit.
Mr. Wichai Pawsa-ard	Section Chief, Welding	Branch Chief, Machinery
Mr. Jedsada Chan-u-ral	Officer, Auto Mechanic	Branch Chief Argo. Mech.
Mr. Sanit Switabutr	Branch Chief, Elect.	Branch Chief, Elect.
Mr. Petlek tongputhong	Officer Aircon & Refrig	Section Chief Electronic

UBISDには、同じくJICAプロジェクトであったコンケン職業訓練センター(KISD)のカウンターパートだったMr. Wanchai Trangutが空調・冷凍庫部門の指導員として勤務している。

表4-3 労働・社会福祉省の他の機関に異動になったカウンターパートの例

氏名	UBISDポスト1992年	現在のポスト
Mr. Wichien Chantarasiri	Director	Inspector DSD
Mrs. Chuthamart Boonart	Chief of General Admin	Director of Surin SDC
Miss. Khuanta Teekapan	Chief of Unit	Chief of Admin Branch Surat Thani ISD
Mrs. Banjong Banjong	General Service	Job Seeker Officer Mukdahan
Mr. Surapol Poochimuang	Officer	Branch Chief Nakonsavan ISD
Mr. Samboonsuk Nakeerak	Section Chief, Body Repair	Branch Chief KISD
Miss. Sirithorn Laohavilai	Unit Chief Finance	Section Chief KISD
Mr. Damri Rintawong	Branch Chief, Coodination	Job Seeker Officer, Srisaket
Miss. Keayoon Kanarungreung	Section Chief, Planning	Branch Chief NISD
Mr. Chaiprakarn Peungtai	Evaluation Officer	Job Seeker Office, Kalasin
Mr. Thanat Srina	Branch Chief Machinery	Director, Wat That Thong SDC
Mr. Chainarin Phapinyo	Section Chief, Machine Shop	Officer, NISD
Mr. Laong Siangdee	Branch Chief, Building	Director, Yala SDC

4 - 3 施設・機材の管理運営状況

本調査団は、「UBISDに係る調査資料」及び「UBISD各部門チーフによる現況説明」を基に調査を行った。

全般的に見て施設の管理運営状況は良好である。

日本からの供与機材のメンテナンス状況は、各部門とも一部故障機材があり、特に機械系部門が多かった。

故障機材の修理や補充部品の購入は、機材が日本製なのでバンコク市内のメーカーでは対応できず、日本国内のメーカーからの取り寄せになる。

故障機材の状態を分析すると以下のとおりである。

- (1) 機械部品が破損しており部品の交換が必要
- (2) 機器が修理不可能なので代替品が必要
- (3) 機械の調整等で使用可能

なお、故障の原因として、安全作業標準に基づいて作業が実施されていないことが考えられる。

対策として、NISDで実施されている全国の指導員訓練の中で安全作業、保守点検、修理技術を強化する必要性が考えられる（なお、部門別調査機材リストについては、表4-4参照）。

表 4-4 部門別調査機材リスト (UBISD)

(1) 機械部門

番号	機材名	仕様	数量	備考
1	立てフライス盤	遠州工業 2番 VF-2型用 変換ギヤー VFB0079AA (1個) " VFB0070YB (1個)	2式	主軸変換歯車の破損 要交換部品
2	万能割出し台	津田駒 250-IH 振り 250mm センタハイト 135mm センタ穴テーパ NAT40 センタ穴径 25 (標準付属品一式)付	2式	破損使用不能 要代替品
3	形削り盤	北越製作所 NT-AK型用 (三叉コック及び銅パイプ)	1式	潤滑装置の不良 要交換部品
4	熱処理炉	山田機械 LMF-22 内装寸法 幅450×高350×奥450 最高温度 1200 電源電圧 380V 電気容量 22Kw (発熱体:カンタルA1)1式 (熱電対:13×500L)K 1本	1式	ヒータ線の断線 要代替品 熱電対温度計の破損 要代替品
5	半自動ガス溶接機	松下 K-200型用 (CO2溶接トーチ)YT-20CS3	1式	溶接トーチの破損 要交換部品
6	スポット溶接機	栄和 TNK-16200D型	1式	使用不能 要代替品
7	プレスブレーキ	東洋工機 HPB-8520A型用 シリンダーパッキン ポペット型電磁弁 CDSG-03-C-A100 レリーフバルブ(Bポートライン)DG-02-H-22 チャックバルブ CRG-03-5-30 シーケンサー出力ユニット(回路内)	1式	油圧装置の不良 要交換部品

(2) 自動車部門

番号	機材名	仕様	数量	備考
1	ホイールバルancer	(株)バンザイ CWB-6502型 (スイッチ電源アッセンブリー) (プリント基板アッセンブリー)	1式	スイッチ不良 プリント基板 不良 要代替品

4 - 4 入学者選抜方法及び卒業生の就職状況

特別訓練は所轄する機関（例えば宗教省、刑務所、軍隊等）の依頼によって訓練を実施するため、入学者選抜にあたり若干のテストを行うが、基本的には全員受入れている。移動訓練及び特定企業内の向上訓練は、希望する村落及び企業の依頼を受けて実施するため、同じく集中的に全員の受入れを行う。

一般に公募するのは長期訓練と向上訓練である。長期訓練はUBISDの担当する南部東北タイにある学校に案内書を送り、生徒を募集する。労働省・社会福祉省の意向により、できるだけ多くの訓練生を受入れている。これは、タイ国の第8次国家経済社会開発計画に従っているものと思われる。

ここでは、我が国が協力した長期訓練の応募状況と競争率を検証した（表4-5及び図4-6）。

応募者の数はプロジェクト開始時点は定員の4倍を超えていたが、次第に低下し、終了時前後には競争率で最低を記録した。しかし、1995年度から受入れ数を倍増したにもかかわらず、1996年度は応募者数も急増し、定員の2倍近くになっている。

表4-5 UBISDの応募状況と競争率の推移

年 度		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
自動車学科	応募者数	344	373	325	302	242	234	417	389
	合格者数	74	74	77	87	91	104	320	304
	競争率	5.09	5.04	4.22	3.47	2.65	2.25	1.30	1.28
機械学科	応募者数	378	336	262	230	157	200	279	335
	合格者数	102	104	103	104	107	130	241	218
	競争率	3.71	3.23	2.54	2.21	1.47	1.54	1.16	1.53
電気学科	応募者数	564	383	235	229	198	193	238	373
	合格者数	60	62	59	78	65	80	162	235
	競争率	9.40	6.18	3.98	2.94	3.05	2.41	1.47	1.59
建設土木科	応募者数	235	122	128	130	124	85	126	179
	合格者数	97	103	96	122	123	85	122	138
	競争率	2.42	1.18	1.33	1.08	1.00	1.00	1.03	1.30
合 計	応募者数	1,491	1,214	950	880	721	712	1,060	1,276
	合格者数	333	334	335	376	386	295	845	690
	競争率	4.48	3.63	2.83	2.34	1.87	2.41	1.25	1.85

UBISDの訓練生の訓練終了後の就職についても、長期訓練のみについて検証する（表4-6及び図4-7）。

表 4-6 UBISD の年就職率

年 度		1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
自動車学科	卒業生数	62	66	67	70	64	84	194	220
	就職者数	49	38	39	31	47	69	190	188
	就職率	0.79	0.58	0.58	0.44	0.73	0.82	0.98	0.85
機械学科	卒業生数	78	90	90	85	84	89	141	155
	就職者数	58	77	79	51	76	89	141	139
	就職率	0.74	0.86	0.88	0.60	0.90	1.00	1.00	0.90
電気学科	卒業生数	49	52	49	47	38	57	114	173
	就職者数	27	38	37	31	37	57	110	156
	就職率	0.55	0.73	0.76	0.66	0.97	1.00	0.95	0.90
建設土木科	卒業生数	75	80	68	84	82	50	70	91
	就職者数	59	66	57	57	77	50	67	85
	就職率	0.79	0.83	0.84	0.68	0.94	0.100	0.96	0.93
合 計	卒業生数	264	288	274	256	268	280	519	639
	就職者数	193	219	212	170	237	265	508	568
	就職率	0.73	0.76	0.77	0.66	0.88	0.95	0.98	0.89

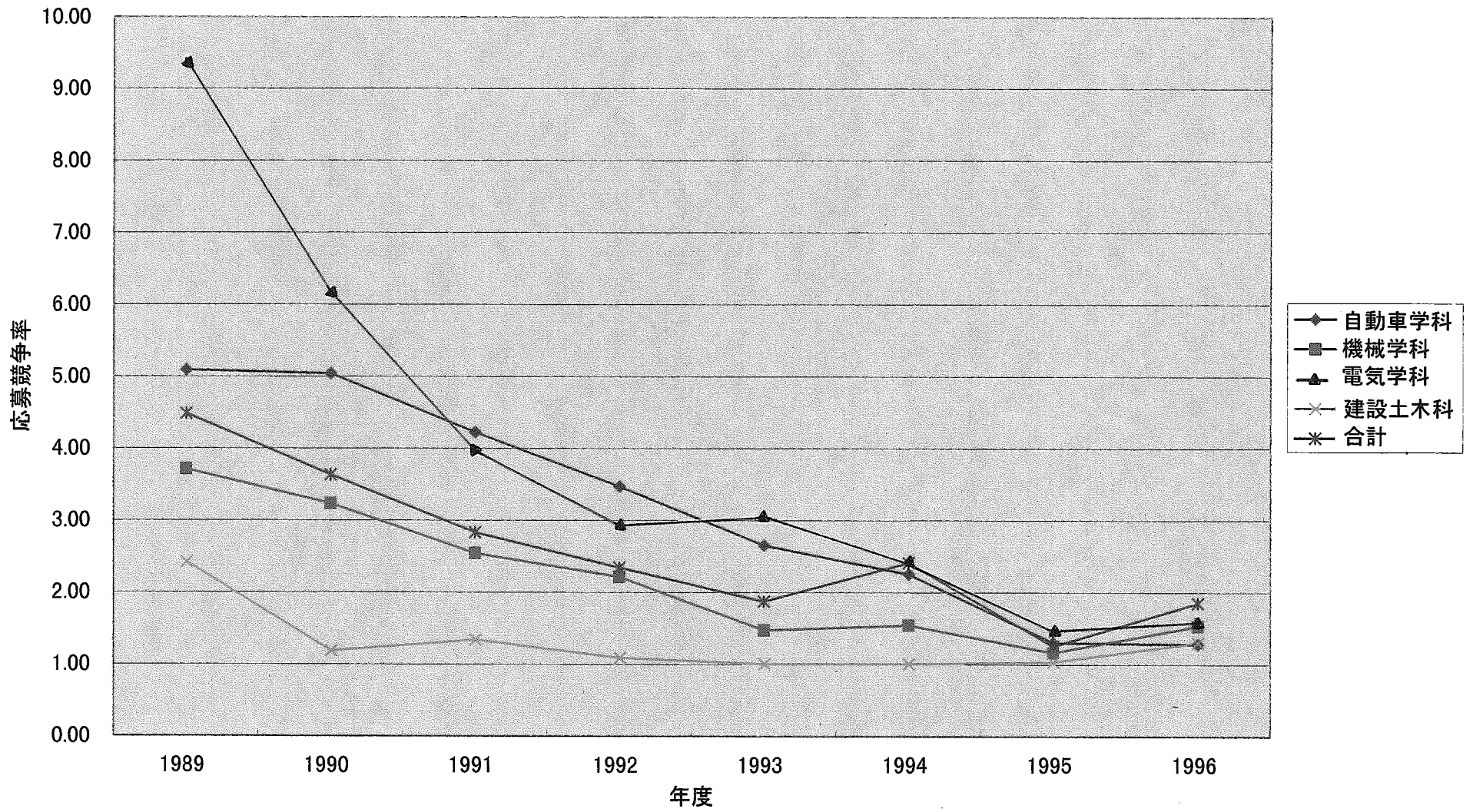


图 4-6 UBISD 応募競争率

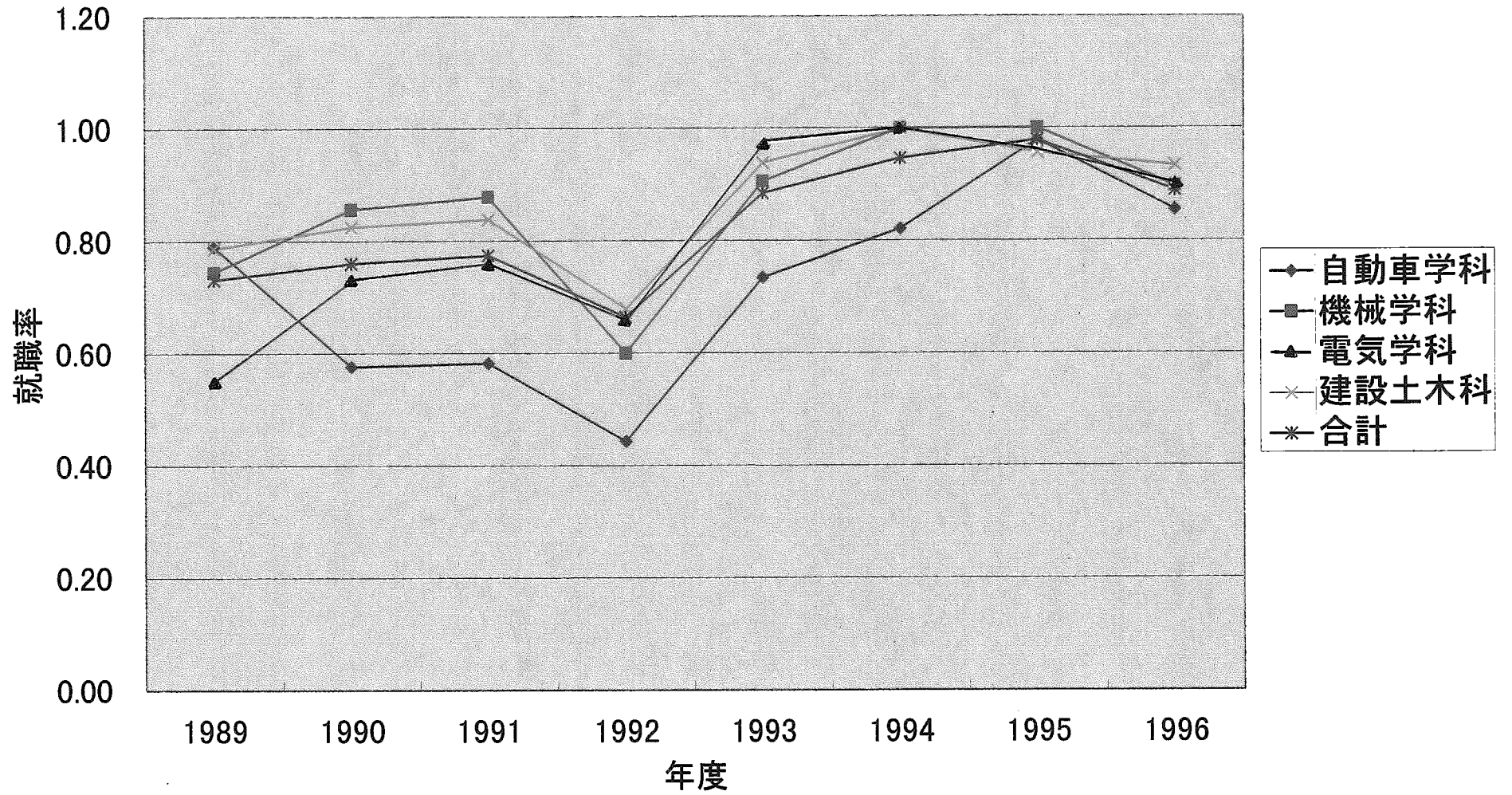


図 4-7 UBISD 卒業生就職率の推移

5 . 中央職業訓練センターの現況

5 - 1 中央職業訓練センターの組織改革

UBISDプロジェクト協力時点では、プロジェクトの監督機関は内務省の中の労働局であったが、その後、労働局は労働・社会福祉省として昇格し独立機関となった。省への昇格に伴い、中央職業訓練センター（NISD）の指導員訓練部門と教材開発部門はNISDから分離して独立した部（Division）となった。NISDは本省所属のままであるが、機能としては12の地域センター（Regional Center）として位置づけられるようになった。ただし、各県ごとに整備される県の技能開発センター（SDC）、12の地域職業訓練センター（ISD：近い将来、チェンライに新たに地域技能開発センターが加えられる予定）として整備が進む予定である。さらに、地域センターの中でもNISDは他の地域センターに比べてより高いレベルの訓練を行う。また、地域センターの中でも南のソククラはシンガポール、マレーシア、インドネシア及びタイ4か国の協力の中心機関として、また、近い将来設立されるチェンライはメコン流域6か国（タイ、中国雲南省、ミャンマー、ラオス、ヴィエトナム、カンボディア）の協力の中枢機関として位置づけ、国際センターとなる。

ただし、UBISDは、タイのDTECによって支援が決まっているカンボディア技能開発センタープロジェクトの支援機関として位置づけられており、チェンライとともに近隣国への協力の核となりうる。UBISDでは上記プロジェクトの準備段階として、カンボディアから研修生を受入れており、同研修生は、DSD訪問及びITPDでのセミナー実施を行っている。また、UBISD及びKISDのある東北タイは、ラオスと人種、言語、文化的な背景に共通点が多く、今後、日本がラオスへの協力を考える場合、両センターを活用することも考えられる。

5 - 2 カリキュラム・教材の地方センターへの普及状況

ITPDの研修の計画と実績は表5-1のとおりである。

表5-1 ITPDの研修計画と実績

	1995年度研修計画と実績				1996年度研修計画と実績			
	計画	実績	修了	コース数*	計画	実績	修了	コース数*
1. 政府職員一般研修	178	663	659	10	2,480	3,483	3,477	29
2. 指導技法・管理研修	1,200	1,223	1,217	11	4,620	3,095	2,988	22
3. 自動車技術科	60	89	89	4	300	274	274	7
4. 工業技術科	50	321	316	13	600	702	702	15
5. 建設工学	50	42	42	2	500	365	361	13
6. 電気・電子工学科	100	899	887	12	1,500	1,079	1,079	19
合計	1,638	3,237	3,210	52	10,000	8,998	8,881	105

* コース数はコースの種類の数

1995年度は組織改革後のせいか計画も少なかったが、実績はほぼ2倍を達した。1996年度は、計画を大幅に拡大した（5倍以上）が達成度は9割くらいであった。

日本の協力は主に4.工業技術科と6.の電気・電子工学科に対する指導員養成研修のコース開設指導であった。総合報告書（平成5年11月）と現在実施している研修のコース名を比較すると次のコースが日本の専門家によって始められたと思われる。

(1) 工業技術科

- 1) CNC Wire Cut EDM
- 2) CNC Lathe
- 3) CNC Milling
- 4) CNC Milling Machine

(2) 電気・電子工学科

- 1) Computer Training for Government Official
- 2) Programable Logic Control

この分野は技術の発展が目覚ましく、プロジェクト当時のDBASE IIIコース、LOTUS 1-2-3コース等は、現在ではマイクロソフト社のソフトが隆盛であり、研修項目から消えている。機材の老朽化あるいはカウンターパートの不足によりZ80マイクロコンピュータコース、メカトロニクスコース、ロボット制御コース等も実施されていない。

ただし、電気・電子の専門家によって開発されたコースと思われるNew recruitment Instructorが、政府職員一般研修に残っている。

以上、日本人専門家が開発した研修の一部が現在も使われていることは確認できた。いずれも、多くの参加者を対象に研修していることは確認できたが、地方の研修センターにどの程度の影響を与えているかはわからない。しかし、これまで、日本から供与されたNISDの機材のレベルを持っているセンターは少なく、NISDで学習したことを地方センターに生かせないとの指摘が、いくつかの調査団によってなされたが、ADBによる地方センターの機材更新によって、この問題は解決されることとなる。

5 - 3 カウンターパートの定着状況

UBISDへの協力に加えて全国への普及をめざしてNISDの指導員養成のためのカリキュラム改編への協力を実施したが、上記のとおり、DSD及びNISDは改革の途上である。そのため、この部分にかかわった機能の追跡を与えられた期間内で詳細に行うのは困難であった。

また、電気・電子工学科には、日本の労働省の奨学金を受けて職業訓練大学校へ留学した3名

の指導員が勤務している。

プロジェクト期間中に日本で研修を受けたカウンターパートの本調査時点での配属先を付属資料6. に示す。これにより明らかなように、大部分のカウンターパートは、労働・社会福祉省の中で指導的役割を果たしており、プロジェクトの裨益効果としても評価される。

5 - 4 施設・機材の管理運営状況

本調査団は、「NISDに係る調査資料」及び「NISD 各部門チーフによる現況説明」を基に調査を行った。

全般的に見て施設の管理運営状況は良好である。

また、日本からの供与機材のメンテナンス状況は、全般的に良好である。

機械部門における故障機材としては、CNCワイヤーカット放電加工機の制御装置が正常に作動しないので、何らかの対応の必要性がある。

6 . アフターケア協力の内容

6 - 1 要請内容

タイ側から提出された要請書は付属資料7. のとおりである。要請内容は、労働・社会福祉省のニーズを反映したものであるが、アフターケア協力の枠組みを大きく越えたものであり、対応は難しい旨をDSD及びDTECに十分説明した結果、DTECは本件調査団の調査結果に基づいて改訂版を提出したいとの説明であった。

6 - 2 アフターケア協力の必要性

UBISDは、建物及び機材のメンテナンスを十分かつ丁寧に行っており、日本から供与された施設を有効に使っている。ただし、いくつかの機材に機材操作、予防メンテナンスの面で向上すべき点があり、そのため、機材の中に、修理を要するものがある。これらの機材を更新・修理することにより、ADB プロジェクトでは別の機材を購入することができる。

また、機材の操作、保守などについて、再度専門家を送ることにより、元カウンターパート及び新しい指導員に対する指導を行う必要がある。

NISDでは、指導員訓練部門が新しく独立した。この分野への協力のニーズはあると思われる（現に先方も望んでいる）が、アフターケアの範囲内に到底収まらないので、今回の協力対象外とすることとした。ただしパソコン、プリンターなどの更新については必要かつ効果的である。

ただし、UBISDで必要とされる研修管理、機材の保守・修理、指導技法等のニーズは、他のISD機関でも同様のニーズがあると思われる。したがって、UBISDへ派遣される、専門家の役割としては、UBISDでの問題解決を事例として、他のISD機関にも参考となるその分野の研修コースを開催することによりITPDにその成果を残すことが望まれる。

また、研修管理、機材保守管理、指導技法のすべてにおいて、技能面もさりながら、システムの維持管理という点で、管理者の研修も必要であることから、日本での研修をこの点に絞り行うこととした。

大規模なADBプロジェクトが実施されることとなるが、これまで、優良モデルとされてきたUBISDの機材、研修管理、指導技法がさらに、注目されることとなるので、アフターケアによるサポートは時宜を得たものとなる。

6 - 3 専門家派遣、研修員受入、機材供与計画

(1) 専門家派遣

以下の3分野の短期専門家を1997年度及び1998年度に派遣する。

1) 研修計画管理

資格要件

- ・職業訓練校での管理経験を有すること（3年以上）。
- ・海外での職業訓練の経験を有することが望ましい。
- ・職業訓練校での教官の経験を有すること（5年以上）。
- ・十分な英語能力（文書作成、会話）を有すること。

業務内容

- ・研修の管理サイクル、安全管理、生徒募集及び卒業生の就職斡旋の分野のような研修管理開発に関する指導。
- ・UBISD 及び ITPD の指導員に対する研修管理開発への提言。
- ・研修管理開発に関するセミナー開催のための ITPD への協力。

派遣期間

3 か月程度。

2) 訓練指導技法

資格要件

- ・職業訓練校での教官の経験を有すること（5年以上）。
- ・十分な英語能力（文書作成、会話）を有すること。
- ・教育学の修士号を有していることが望ましい。

業務内容

- ・カリキュラムの改善と開発に関する指導。
- ・指導員研修コースの教官のための訓練マニュアルの供与。
- ・指導技術カリキュラム開発及び教材開発を担当している人員の訓練。

派遣期間

2 か月程度。

3) 機材保守修理

資格要件

- ・機材保守、機材修理の指導経験を有すること。
- ・職業訓練校での教官の経験を有すること（5年以上）。
- ・十分な英語能力（文書作成、会話）を有すること。

業務内容

- ・簡単な機材の保守・管理についての UBISD 及び ITPD への助言。
- ・機材の点検・運転の作業の改善についての UBISD 及び ITPD への助言。
- ・機材の保守・修理の作業心得の研修コース新設のための ITPD への協力。

派遣期間

1 か月程度。

(2) 研修員の受入れ

以下の分野のいずれかについて、1998 年度に本邦研修を行う。研修の効果を勘案すれば、UBISD よりも ITPD のカウンターパートの受入れが望ましい。具体的な時期、内容などについては、これらの分野の短期専門家の活動内容、実績などを考慮して、タイ側と具体的に協議していく必要がある。

研修計画管理

訓練指導技法

(3) 機材の供与

タイ側と確認した機材リストのうち、アフターケア協力で対応可能な範囲内(通常3,000万円程度)で、優先度を付して、1997 年度の予算で対応する。

6 - 4 今後のスケジュール

本アフターケア協力は、1997 年 10 月 1 日から 1998 年 9 月 30 日までの 1 年間で予定している。協力の効果的・効率的実施の観点から、スペアパーツなどの機材の供与を 1997 年度(平成 9 年度)に実施し、機械の保守・修理技術の短期専門家及びカウンターパート研修を 1998 年度(平成 10 年度)に実施する。また、研修計画管理(Training Program Management)及び訓練指導技法(Instructional Methodology)の短期専門家についてはタイ側受入状況を勘案しつつ、可能な限り 1997 年度に対応することとする。

なお、専門家派遣、研修員受入及び機材供与に係る正式要請書(A フォーム)については、1997 年 8 月末までに在タイ日本大使館宛に提出することを確認しているが、今年度実施予定の事業(特に、機材供与)に支障がないように、JICA タイ事務所を通じて進捗を確認する必要がある。

付 属 資 料

資料 1 . ミニッツ (M/M)

資料 2 . 労働・社会福祉省技能開発局 (DSD) の事業概況 (仮訳)

資料 3 . ITPD における指導員訓練コースの実施計画及び実績 (1995 ~ 1996)

資料 4 . UBISD の事業概況

資料 5 . UBISD の養成研修実績及び予算の推移 (1992 ~ 1996)

資料 6 . 本邦研修を受けたカウンターパートの現配属先

資料 7 . アフターケア協力要請書

資料 8 . アジア開発銀行の技能開発プロジェクト概要

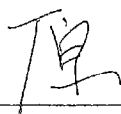
**THE MINUTES OF MEETING
BETWEEN
THE JAPANESE AFTERCARE STUDY TEAM
AND
THE AUTHORITIES CONCERNED
OF
THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND
ON
THE AFTERCARE TECHNICAL COOPERATION FOR
THE UBON INSTITUTE FOR SKILL DEVELOPMENT PROJECT**

The Japanese Aftercare Study Team (hereinafter referred to as "the Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. Akira HARA visited the Kingdom of Thailand from June 1 to 11, 1997, for the purpose of studying the ways and means for implementing the Aftercare Technical Cooperation for the Ubon Institute for Skill Development Project (hereinafter referred to as "the Project").

During its stay in the Kingdom of Thailand, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Thai authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the Aftercare Technical Cooperation.

As a result of the study and discussions, both parties came to the understanding concerning the matters referred to in the document attached hereto.

Bangkok, June 10, 1997



Akira HARA
Leader,
Japanese Aftercare Study Team,
Japan International Cooperation Agency,
Japan



Som SUPPANAKORN
Director General,
Department of Skill Development,
Ministry of Labour and Social Welfare,
The Kingdom of Thailand

ATTACHED DOCUMENTS

I. COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

As a result of the study and discussions, the Team recognized that the Project has been managed satisfactorily by the Thai side since the technical cooperation finished in 1993. And both sides agreed that further cooperation in the form of Aftercare Technical Cooperation should be executed.

1. Justification

Both sides agreed that it is necessary to improve the course programs which had been prepared during the cooperation term of the Record of Discussions from October, 1988 to September, 1993 in order to further promote the development and sustainability of the Project.

2. Contents of the Aftercare Technical Cooperation

After a series of discussions, both sides agreed to focus technical cooperation on the despatch of short-term experts, the training of counterpart personnel in Japan and the provision of spareparts and replacement of the equipment.

II. TERM OF COOPERATION

The duration of the Aftercare Technical Cooperation will be one year from October 1, 1997.

III. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF JAPAN

1. Despatch of experts

The Japanese side will despatch three(3) short-term experts in the following fields:

- (1) Training Program Management
- (2) Instructional Methodology
- (3) Machine Maintenance and Repair

2. Training of counterpart personnel in Japan

In consideration of the necessity and the effectiveness, the Japanese side will accept one(1) Thai counterpart personnel for training in Japan in one of the following fields:

- (1) Training Program Management
- (2) Instructional Methodology

3. Provision of spareparts and replacement of the equipment

The Japanese side will provide spareparts and replacement of the equipment (hereinafter referred to as "the Spareparts"), for the existing machinery and equipment which had been provided by the Government of Japan in order to conduct the technical cooperation in the Project, through the normal procedures under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

The actual provision of the Spareparts will be subject to the budget allocation of the Government of Japan.

IV. MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE KINGDOM OF THAILAND

1. Privileges, exemptions and benefits of Japanese experts

The Japanese experts referred to in III-1 above and their families will be granted in the kingdom of Thailand the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries working in the Kingdom of Thailand under the Colombo Plan Technical Cooperation Scheme.

2. Counterpart personnel

(1) Thai side will assign a necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese expert to be despatched by the Government of Japan for the effective and successful implementation of the Aftercare Technical Cooperation.

(2) Thai side will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Thai personnel from technical training in Japan will be utilized effectively.

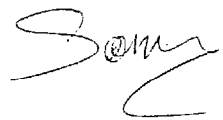
3. Management and maintenance of the Spareparts

Thai side will take necessary measures to meet:

(1) Expenses necessary for the transportation within the Kingdom of Thailand of the articles referred to in III-3 above as well as for installation, operation and maintenance thereof:

(2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed in the Kingdom of Thailand on the articles referred to in III-3 above.

(3) All running expenses necessary for the implementation of the Project.



V. SUBMITTANCE OF APPLICATION FORMS

Thai side will submit the application forms for despatch of experts (Form A-1), for the training of counterpart personnel in Japan (Form A-2, A-3), and for the provision of the Spareparts (Form A-4), to the Government of Japan through the diplomatic channels by the end of August, 1997 in order to implement the Aftercare Technical Cooperation smoothly.

7/19.

Sami

タイにおける技能開発の概観

タイにおける技能開発はフォーマル、ノンフォーマルな職業教育・訓練を通して進められてきた。

1. フォーマルシステム

フォーマルな教育システム (学校教育) は以下の4つのレベルに分けられる:

1. 初等レベル、2. 下級中等レベル、3. 上級中等レベル、4. 大学レベル

下級中等教育を終了した生徒は、上級中等レベルにおいて、大学入学試験につながる3年の一般教育を続けるか、職業教育への変更をするかの選択をする。

職業教育は2つのレベルから構成される: 1. 3年の中等職業教育、2. 技術センターにおける2年間のより高いレベルの教育。中等職業教育の修了者は、終了証明書を取得し、それによって適切な職業を得ることが可能になる、もしくはさらに2年の職業教育を受け学位を得ることができる。学士号を得るには、技術大学若しくは教員訓練大学でのさらに2年間の教育が必要となる。

2. ノンフォーマルシステム (学校教育によらない訓練)

いくつかの官庁が非公的な職業訓練を組織しているが、そのうち重要なものは、文部省の職業教育局(the Department of Vocational Education, DOVE)、ノンフォーマル教育局(the Department of Non-formal Education, DNFE)、労働社会福祉省の技能開発局(the Department of Skill Development, DSD)のよるものである。

DOVEはいくつかの期間 (1年、3ヶ月、それ以下) で、総合技術専門学校と産業社会教育大学 (the Industrial and Community Education College, INCEC) においてノンフォーマルコースを開催している。INCECは中等学校において実用的なコースを開催している。各農業大学には移動式訓練を行って農村部の教育を行っている。

DNFEは基礎職業技能、技能向上、収入創出活動に関するノンフォーマルプログラムを実施している。

DSDは労働市場への新しい参入者のために従業前訓練、従業者のために向上訓練、及び非技術的訓練、農村部職業訓練、インストラクター訓練を行っている。また国家技能水準を設定し、技能テスト、コンテストを行っている。

その他、職業訓練を行っている政府機関には、内務省、防衛庁、農業協同省、通産省、バンコク都市庁、公営企業がある。

いくつかの非政府組織が障害者の経済的、社会的な生活の質向上を図って職業訓練を行っている。私立職業訓練施設も雇用関係の訓練を行っている。

技能開発局の歴史的変遷

技能開発は、内務省公的福祉局青少年福祉部の職業教育課によって1953年に開始された。その後、1964年に、労働部の職業訓練センターが技能開発を担う。一年後、労働局が内務省内に設立され、労働局技能開発部が技能開発を担当する。

1969年に、国立技能開発センター（NISD）が1968年の内閣決議を受けて設立され、それに続いていくつもの地方技能開発センターが設立される。1992年3月15日に、技能開発、海外雇用、外国人労働者コントロールの役割を持った技能開発局が内務省の下に設立される。1993年9月23日には技能開発局が技能開発の役割だけを残しもって労働社会福祉省の下に移される。

技能開発局の役割

技能開発局は以下の活動を行っている。

1. 訓練カリキュラム、訓練支援及び機器の研究、分析、開発、訓練施設の基準設定及び訓練方法・技能の開発。
2. 適切な技能開発方法及び女性、子供のためのガイドラインの研究、開発、職業訓練と女性及び子供のための情報センターとしての調整業務
3. 職業技能基準の設定及び技能テストの実施
4. 省庁の政策及びマスタープランに対応する形での評価活動を含めた技能開発方法の開発
5. 公私両部門における技能開発教員が最新の技術についていくための訓練システムの研究、開発及び訓練生の開発、産業技術の開発のための情報提供
6. 民間部門の技能開発への参入のサポート・促進を含めた、労働者のための従業前訓練及び技能向上訓練の組織

組織構造

1. 秘書室
局の一般運營業務全般を担当
2. 経理部
経理業務、会計、予算措置、建物及び車両の補給・維持を担当
3. 人事部
人事業務の推進及び局の職員及び従業員の福祉を担当
4. 訓練技術開発部
 - 4.1. 労働市場の状況をふまえた訓練カリキュラム及び訓練支援の開発、及び職業訓練で使用される物品の基準設定
 - 4.2. 職業訓練機器のための情報センターとしての活動、関係規定の制定及び職業訓練方法の開発
5. 女性及び子供の技能開発調整部
 - 5.1. 女性、子供及び障害者の技能開発のための適切なパターン及びガイダンスの開発の研究
 - 5.2. 国全体の公的部門、民間部門における女性及び子供の職業訓練の調整部署及び情報センターとしての活動
6. 職業技能基準部
 - 6.1. 国家技能基準委員会及び関係下部委員会の事務局的活動
(国家技術基準の設定) 知識と専門性のレベルに応じて職業技能を分類。技能開発局が事務を担当し、政府、民間、教育機関、その他の組織の技術専門家によって構成される国家技能基準委員会によって3つのレベルに分類。この基準は民間企業が人材の採用・給料決定を行う際のガイドラインとなる。
 - 6.2. 技能基準試験の実施
(技能基準試験) 技能開発局は国家技能基準によって分類された分野の技術労働者の技能試験を行う。また、海外で働く予定者のための特別試験、民間海外雇用企業によって行われる技能試験の監督を行う。
(技能コンテスト) 2年に一度職業教育・訓練の人気の向上と技術者の専門性の向上を目的に開催。国際機関と協同で国際技能コンテストにも参加。
 - 6.3. 雇用求職者保護法に基づいた民間技能試験センターの統括
7. 技術研究、計画部
 - 7.1. 労働市場及び国家開発に対応した技能開発のためのシステム、パターン、方法の開発
 - 7.2. 政策及び省のマスタープランに対応した開発計画の準備、調整、省の活動のモニ

タリング及び評価

7.3. 技能開発に関する援助及び協力に係る国際組織との協力

7.4. 技能開発の情報センターとしての活動。コンピューターシステムによる情報の分析、設計、収集、見積及び出版、及び情報技術システムの開発計画の策定

8. 訓練員開発センター

8.1. 訓練員開発のための訓練システムの研究及び開発

8.2. 公的及び民間部門の技能開発をする人材が最新の技術及び教授方法についていくための知識及び技能を向上するための訓練の組織

9. 国家技能開発センター

9.1. 労働者が高度な技術及び高度な技能を必要とする労働市場に効率的に参入し、職を得ることができるような技能訓練を行う

9.2. 労働者の職業技能の向上

9.3. 様々な職業の技能基準試験における協力

9.4. 民間部門の技能開発への参加促進

10. 技能開発地方センター

10.1. 労働者が中級の技能を必要とする労働市場に効率的に参入し、職を得ることができるような職業訓練を行う。

10.2. 地方レベルの労働者の職業技能を向上

10.3. 様々な職業の技能基準試験における協力

10.4. 地方レベルでの民間部門の技能開発への参加促進

11. 州技能開発センター

11.1. 地方レベルにおいて基礎技術及び中級技術を必要とする労働市場に労働者が効率的に参入し、職を得ることが得ることができるような職業訓練を行う。

11.2. 様々な職業の技能基準試験における協力

11.3. 州レベルでの民間部門の技能開発への参加促進

12. 計画、建設部

12.1. 技能開発センターの建設予定地の調査、効果的な使用のための建設の青写真の設計、業務上及びデザイン上の必要性に応えた内装のデザイン

12.2. 設計、建設段階での問題の解決、価格見積及び建設評価

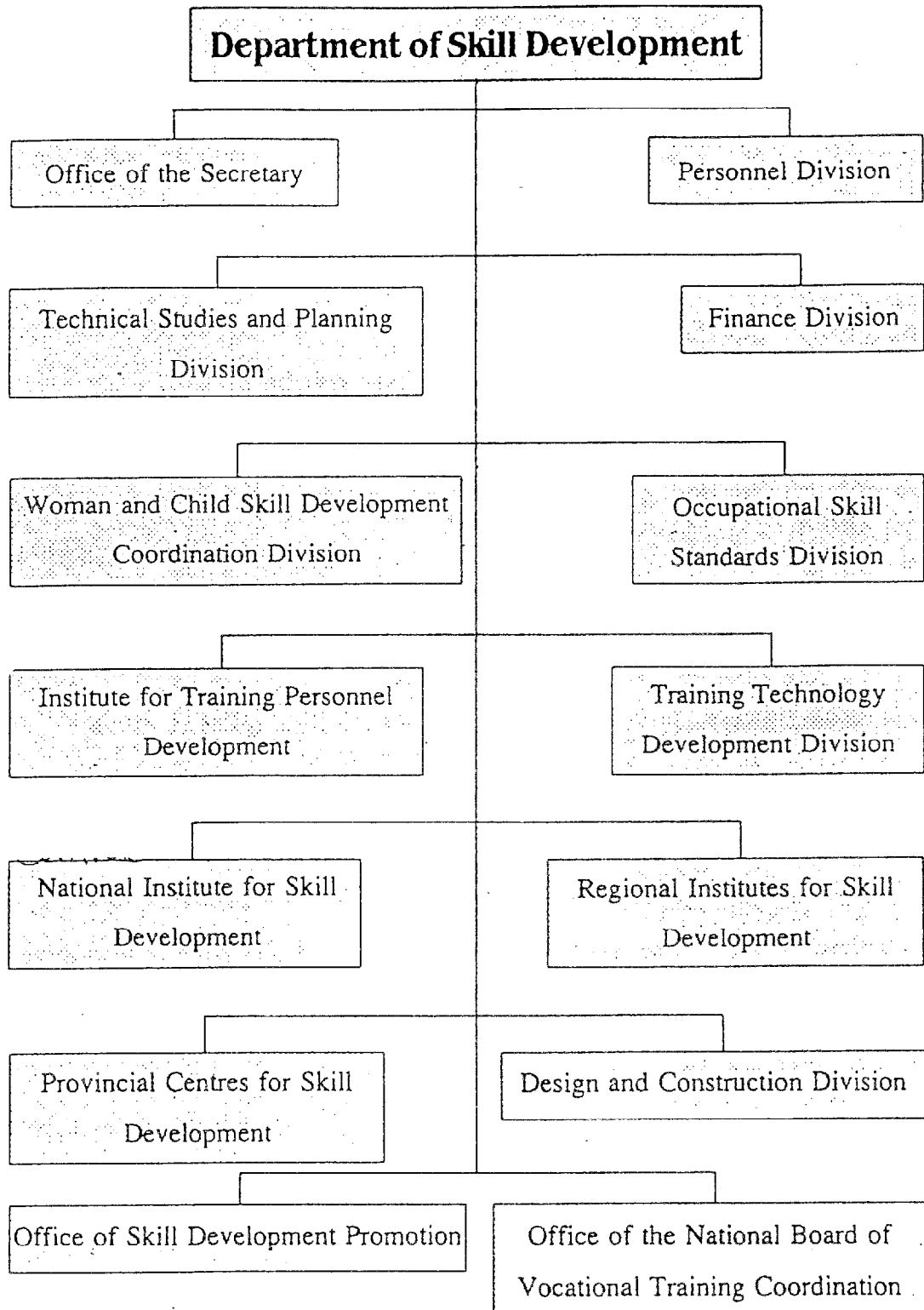
13. 国家職業訓練調整局の事務局

国家職業訓練業務調整局の事務局として職業訓練及びその他関連事項に関する情報提供、技能開発の国家政策及び職業訓練調整のガイドラインを形成する目的の会議のアレンジ。

14. 技能開発促進事務局

"職業訓練促進法1994"に基づく民間企業の配管訓練の奨励及び補助、民間職業訓練センターの設立促進、及び局の活動を運営する上での技能開発局と他の組織の協力調整。

Organization Chart of Department of Skill Development



技能開発の方向性（今後）

1. ヴィジョン

現在のタイの経済成長は、工業、商業、サービスの急成長によって特徴付けられる。その結果国際市場の厳しい競争にさらされている。従って、企業のニーズに応え、国際競争力を高めるために技術力のある労働者の十分な供給が求められている。

このような状況に応え、技能開発局は”知識、技能、訓練そしてモラルを持った労働者がすばらしき技術労働者” という名の、今後10年のヴィジョンを掲げている。

2. 技能開発政策

上記ヴィジョンを現実のものとするために、技能開発局は以下のような技能開発のための政策フレームワークを形成している。

1. 国全体に州技能開発センターを設立し、また現存する技能開発センターの能力を向上させる。
2. 経済的拡大、企業のニーズに応える、よく訓練された労働力の十分な供給を行うために短期訓練コースを増加させ、その質を向上させる。
3. 労働生産性及び収入レベルを向上させるための技能向上訓練を行う。
4. 技術労働者が不足している職業の労働者の技能を集中的に向上させる。
5. 女性と子供の技能を向上し、職業競争力をつけ十分な収入を保障する。
6. '職業訓練促進法1994' に基づいて、民間企業の技能開発への参加を促進する。
7. 国家技能基準を設定し、技能基準試験を行い、技能基準分類と雇用・給与システムとの関連を強める可能性を検討する。
8. 技能開発における国際協力を促進する。

3. 政策施行のためのガイドライン

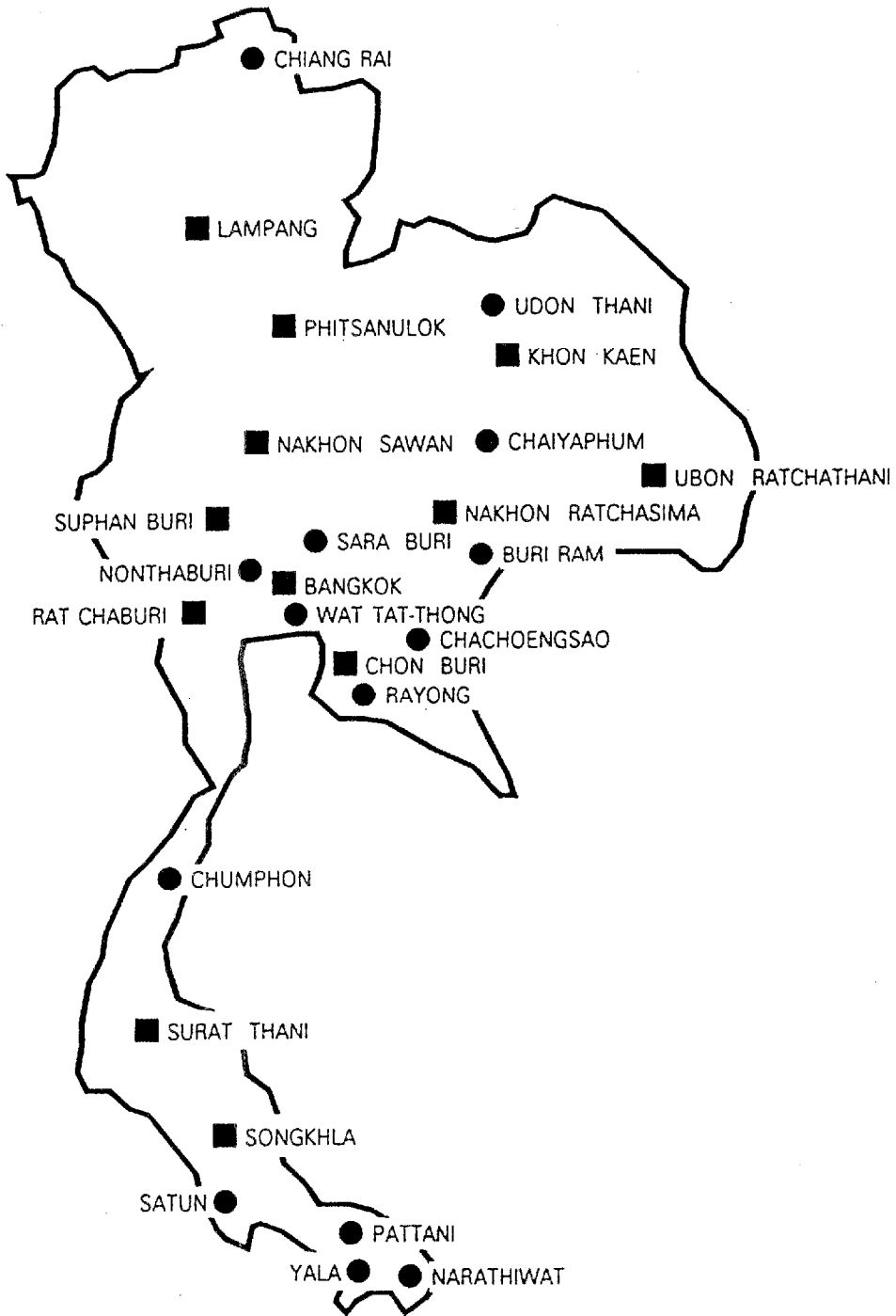
上記政策を施行するために、技能開発局は第1期技能開発計画（1995-2001）において提示された以下に掲げる数々の活動を行う。

1. 適切な訓練計画の基礎となる労働ニーズの分析
2. 職業訓練技術、カリキュラム及び機器の開発
3. 公私両部門における訓練員のための最新技術の分析
4. 最新技術を使った遠隔地訓練
5. 様々な公・民間部門によって実施される職業訓練の調整
6. 免税措置、職業訓練プログラムを支援するNGO・基金・慈善団体の招へいを行って、民間企業が工場内訓練を実施するのを促進する。
7. 職業訓練に参加するにあたって、不利な条件下にある人々のための技能開発基金を

設立する。

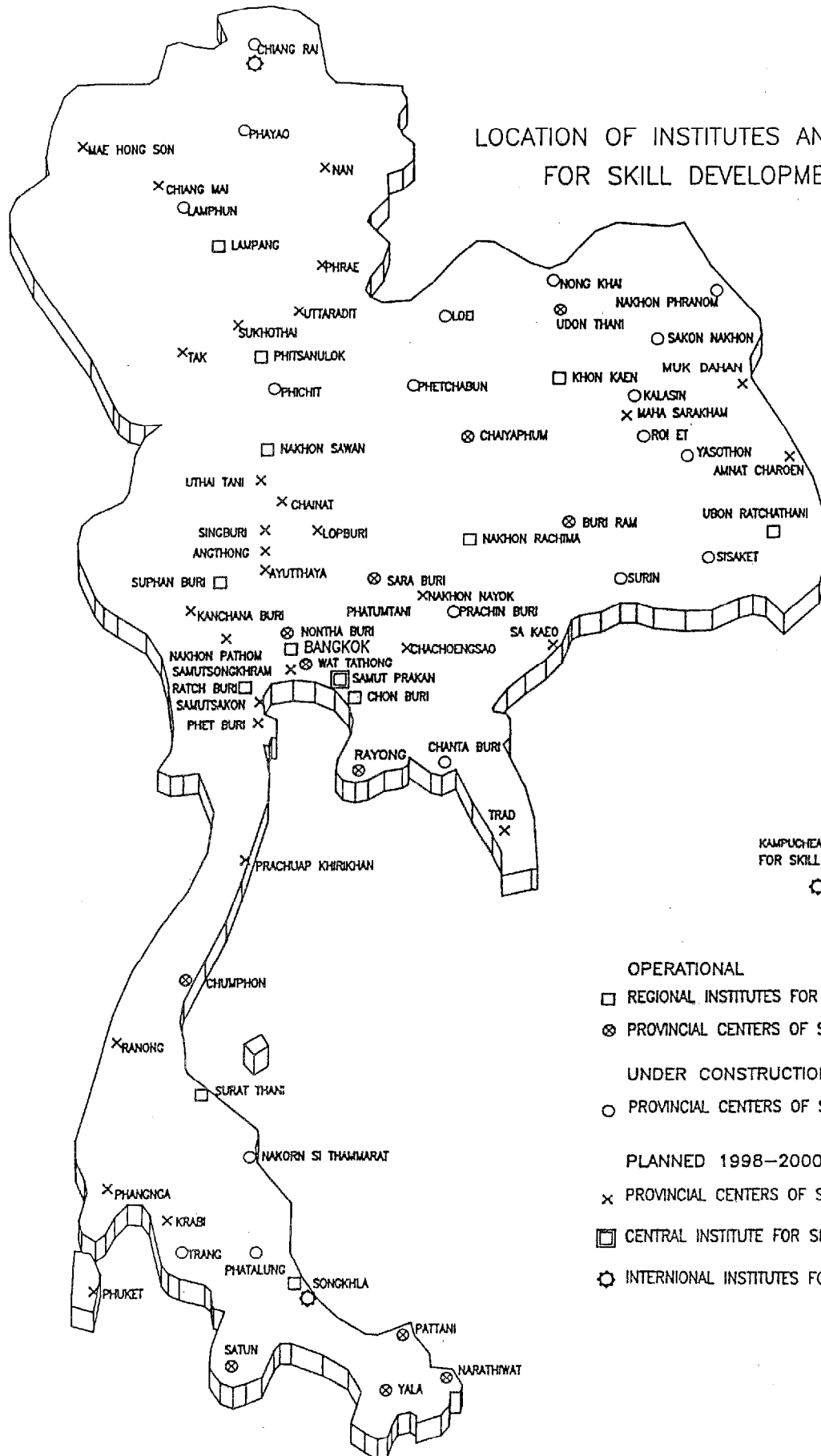
- 8.技能基準に関する情報を提供すると同時に国家技能水準の設定と試験を増やす。
- 9.雇用者が独自の技能基準試験を行うのを奨励する。
- 10.最南端地域及び最北端地域に国際技能開発センターを設立し、訓練員養成における技術支援を行い、近隣諸国と協力を行う。
- 11.公私両部門の情報源を調整し、コンピューターによって制御された情報システム及びネットワークを開発する。

Location of the Institutes and Centres
for Skill development (Operational)
(As of January 1996)



- Regional Institutes for Skill Development
- Provincial Centres for Skill Development

LOCATION OF INSTITUTES AND CENTERS FOR SKILL DEVELOPMENT



KAMPUCHEA-THAI INSTITUTE
FOR SKILL DEVELOPMENT
⊗ PHNOM PENH

- OPERATIONAL
- REGIONAL INSTITUTES FOR SKILL DEVELOPMENT
- ⊗ PROVINCIAL CENTERS OF SKILL DEVELOPMENT
- UNDER CONSTRUCTION 1997
- PROVINCIAL CENTERS OF SKILL DEVELOPMENT
- PLANNED 1998-2000
- × PROVINCIAL CENTERS OF SKILL DEVELOPMENT
- ▣ CENTRAL INSTITUTE FOR SKILL DEVELOPMENT
- ⊗ INTERNATIONAL INSTITUTES FOR SKILL DEVELOPMENT

อัตราค่าจ้างกรมพัฒนาฝีมือแรงงาน ปีงบประมาณ 2536-2538

Department of Skill Development Personnel : Fiscal Year 1993-1995

ระดับ หน่วยงาน	รวม Total	ข้าราชการ Government Officials										ลูกจ้าง Employees		Grade Division
		10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	ประจำ Permanent	ชั่วคราว Temporary	
ปี 2536	2,766						1,944					822	-	1993
ปี 2537	1,840	1	2	20	110	264	69	172	296	82	119	650	55	1994
ปี 2538	1,897	-	-	18	114	263	69	171	294	81	115	720	52	1995
1. สำนักงานเลขาธิการกรม	111	-	-	1	5	17	5	22	19	12	-	30	-	1. Office of the Secretary
2. กองวิชาการและแผนงาน	49	-	-	1	4	9	6	12	6	7	-	4	-	2. Technical Studies & Planning Division
3. กองมาตรฐานฝีมือแรงงาน	66	-	-	1	3	13	2	10	20	1	-	16	-	3. Occupational Skill Standard Division
4. กองประสานการพัฒนาฝีมือ แรงงานสตรีและเด็ก	37	-	-	1	3	7	5	1	10	2	4	4	-	4. Women & Child Skill Development Coordination Division
5. กองพัฒนาเทคโนโลยีการฝึก และพัฒนาฝีมือแรงงาน	69	-	-	1	4	14	5	9	18	7	7	4	-	5. Development of Training Technology Division
6. สถาบันพัฒนาบุคลากรฝึกและพัฒนาฝีมือแรงงาน	67	-	-	1	6	15	4	5	12	3	3	18	-	6. Institute for Training Personnel Development
7. สถาบันพัฒนาฝีมือแรงงานกลาง	197	-	-	1	9	31	4	27	34	9	14	68	-	7. Central Institute for Skill Development
8. สถาบันพัฒนาฝีมือแรงงานภาค 11 แห่ง	1,054	-	-	11	66	121	33	74	133	31	73	460	52	8. Regional Institutes for Skill Development
9. ศูนย์พัฒนาฝีมือแรงงานจังหวัด 14 แห่ง	247	-	-	-	14	36	5	11	42	9	14	116	-	9. Provincial Centres for Skill Development
10. ไม่สังกัดกอง	10	1	2	4	1	1	-	1	-	-	-	-	-	10. Others

ที่มา : กองการเจ้าหน้าที่ ณ วันที่ 15 พฤศจิกายน 2538

Source : Personnel Division, 15 November 1995

งบประมาณรายจ่าย ประจำปีงบประมาณ 2538 จำแนกตามหมวดรายจ่าย

Budget Expenditure by categories : Fiscal Year 1995

แผนงาน/โครงการ	รวม	เงินเดือนและ ค่าจ้างประจำ	ค่าจ้างชั่วคราว Temporary Wages	ค่าตอบแทน ใช้สอยและวัสดุ Remuneration	ค่าสาธารณูปโภค Utilities	ค่าภูมิทัศน์ และสิ่งก่อสร้าง Infrastructure	เงินอุดหนุน Subsidies	รายจ่ายอื่น Others	Plan/Project
	Total	Salaries&Wages							
ก.แผนงานบริหารและพัฒนาแรงงาน	641,999,300	156,786,200	1,860,600	139,081,100	14,927,000	311,969,400	14,175,000	3,200,000	Administration and Skill Development
1.งานบริหารทั่วไป	19,000,400	10,009,500	-	5,693,000	3,000,000	297,900	-	-	1 General administration
2.งานพัฒนาฝีมือแรงงาน	233,904,300	104,223,200	37,000	95,675,100	6,500,000	16,804,000	10,665,000	-	2 Skill development
3.โครงการจัดตั้งสถาบันพัฒนาฝีมือแรงงาน จังหวัดสุราษฎร์ธานี	30,383,600	5,032,200	-	3,424,100	478,000	21,179,300	270,000	-	3 Establishment of Surat Thani Regional Institute
4.โครงการจัดตั้งศูนย์พัฒนาฝีมือแรงงาน จังหวัดชัยภูมิ	9,203,700	1,619,900	-	2,820,300	400,000	3,643,500	720,000	-	4 Establishment of Chaiyaphum Provincial Centres
5.โครงการจัดตั้งสถาบันพัฒนาฝีมือแรงงาน	81,578,000	10,930,200	-	8,201,600	1,500,000	60,226,200	720,000	-	5 Establishment of the Regional Institute
6.โครงการจัดตั้งศูนย์พัฒนาฝีมือแรงงาน	197,701,900	8,134,700	1,823,600	11,855,000	2,800,000	171,288,600	1,800,000	-	6 Establishment of the Provincial Centre
7.โครงการปรับปรุงสถาบันพัฒนาฝีมือแรงงาน	3,722,900	-	-	-	-	3,722,900	-	-	7 Improvement of the Regional Institute
8.โครงการก่อสร้างสถาบันพัฒนาฝีมือแรงงานกลาง	30,976,400	-	-	-	-	30,976,400	-	-	8 Construction of the Central Institute
9.งานมาตรฐานฝีมือแรงงาน	18,326,300	6,417,500	-	7,930,000	72,000	706,800	-	3,200,000	9 Occupational Skill Standards
10.งานพัฒนาเทคโนโลยีการฝึกและ พัฒนาฝีมือแรงงาน	4,732,000	2,173,300	-	1,686,400	61,000	811,300	-	-	10 Training and Skill Development Technology
11.งานนโยบายและแผน	9,409,600	7,165,900	-	1,075,000	36,000	1,132,700	-	-	11 Policy and Planning
12.งานพัฒนาบุคลากร	3,060,200	1,079,800	-	720,600	80,000	1,179,800	-	-	12 Personnel Development
รวม	641,993,300	156,786,200	1,860,600	139,081,100	14,927,000	311,969,400	14,175,000	3,200,000	Total

付属資料 3 . ITPD における指導員訓練コースの実施計画及び実績 (1995 ~ 1996)

Work Plan and Result of Training Personnel
Fiscal Year 1995 ~ 1996
The Institute for Training Personnel Development

Courses	Plan		No. of Attendant		No. of Graduate	
	1995	1996	1995	1996	1995	1996
Total	1,623	10,000	8,237	8,996	3,210	8,976
Government Official Sector	173	2,430	663	3,483	659	3,477
1. Skill Development Administrator			64	56	64	56
2. Team Work Building			-	2,259	-	2,253
3. How to be trade Testing Committee			-	40	-	40
4. Strategic of Skill Development in national 5 years plans			-	52	-	52
5. Study visit World Trade Exhibitions			-	79	-	79
6. Study visit and Training (Taiwan)			-	29	-	29
7. Strategic Planning (Canada)			-	5	-	5
8. CAM & CNC Application (S. Korea)			-	4	-	4
9. Strengthening the Admin. Capacity			-	64	-	54
10. Policy & Planning			-	150	-	150
11. Financial for Administrators			31	30	31	30
12. Policy Maker Seminar			-	40	-	40
13. New recruitment Development			194	91	194	51
14. Planning and proj. Management			45	44	45	44
15. Secretariat Work			35	35	35	35
16. Budgeting for Administrators			105	-	105	-
17. Gov't Admin. By business style			67	-	67	-
18. Data Base on Financial			21	-	17	-
19. Supervisory Training			-	104	-	104
20. Efficiency Work			-	1	-	1
21. Local Skill Development			-	60	-	60
22. Regulations for Financial Office			-	1	-	1
23. Law concerns Labour & Social Welfare			-	1	-	1
24. Leadership & Team Work			-	50	-	50
25. Leadership & Decision Making			29	1	29	1
26. Art of the Administrators			-	2	-	2
27. A. I. C. Seminar			-	108	-	108
28. A. I. C.			-	36	-	36
29. Ministry of Labour & Social Welfare Responsibility			-	18	-	18
30. Action Plan for Fiscal Year 1997			-	50	-	50
31. Working Condition			-	24	-	24
32. Working Condition (Safety & health)			72	49	72	49

* In 1996, DSD. Had to train the training personal 10,000 persons by the Cabinet Appronement to Solne the Instructor Shortage Problems.

Courses	Plan		No. of Attendant		No. of Graduate	
	1995	1996	1995	1996	1995	1996
Instructional Technique & Management Section	1,200	4,610	1,223	3,095	1,217	2,988
1. International Instructor Training			2	14	2	14
2. New Recruitment Instructor			42	67	42	67
3. Local Instructor Training			-	68	-	68
4. Training Officer			88	69	88	69
5. Instructional Technique (Trainer)			12	109	12	109
6. Instructional Technique			929	1,949	927	1,860
7. Hotel Management			-	1	-	1
8. Transparenoy Design & Producing			20	61	20	61
9. Testing preparation			-	50	-	44
10. Career Guidance			-	46	-	46
11. Supervisory Training			-	176	-	168
12. Public Speaking			44	22	44	21
13. Basic English Conversation			15	95	15	95
14. Behavior Objective & Information Sheet			-	14	-	14
15. Waiter & Waitress			-	25	-	25
16. English for Onersca job-seekers			15	53	14	53
17. Games for Training			32	45	29	42
18. Study Visit for Kampuchea Instructors			-	16	-	16
19. Training Aid Producing (Basic)			-	162	-	162
20. Industrial Estate Study Visit			-	16	-	16
21. Seaweed Host			-	10	-	10
22. DACUM			24	27	24	27

Courses	Plan		No. of Attendant		No. of Graduate	
	1995	1996	1995	1996	1995	1996
Mechanical Technology Development Section	60	860	89	274	89	274
1. Instrument for Auto Testing & Repair			-	18	-	18
2. Gar-Air condition			13	53	13	53
3. Automatic Gear			-	20	-	20
4. Gasoline Injection by Electronic Control			-	26	-	26
5. Automatic			-	7	-	7
6. Car maintenance			26	142	26	142
7. Air Condition & Refrigeration			-	8	-	8
8. Car-Maintenance Project Manager			46	-	46	-
9. Training Aid Development			4	-	4	-

Courses	Plan		No. of Attendant		No. of Graduate	
	1995	1996	1995	1996	1995	1996
Industrial Technology Development Section	50	600	321	702	316	702
1. Making Sheet Work by Computer			-	159	-	159
2. Welding skill Development			21	14	11	14
3. Welding Instructor Seminar			20	47	20	47
4. Intensive Welding Instructor Course			-	26	-	26
5. MTS CNC Seminar			-	20	-	20
6. Auto CAD R. 12 (Trainers)			20	83	20	83
7. CNC Wire Cut EDM			12	14	12	14
8. CNC Lathe			40	25	40	25
9. CNC Milling			13	36	13	36
10. Welding ISO 9606			-	39	-	39
11. CNC Milling Machine			15	10	15	10
12. Machine Shop Skill Development			-	129	-	129
13. Orientation for new Instructors			-	98	-	98
14. New Industrial Management			42	-	42	-
15. Sanitary installation & control			31	-	31	-
16. Introduction to Unix Operation System			34	-	34	-
17. CAD Level 1 (Pilot Project)			12	-	12	-
18. Spare parts of Machine shop			61	-	61	-
19. Welding G. M. A. W.			-	1	-	1
20. Welding Technique & Maintenance			-	1	-	1

Courses	Plan		No. of Attendant		No. of Graduate	
	1995	1996	1995	1996	1995	1996
Construction Technology & Industrial Art Development Section	50	500	42	369	42	361
1. Pipe and Sanitary Fitting			-	42	-	42
2. Bricklaying Technique			-	47	-	47
3. Painting Technique			-	41	-	41
4. Lather Product Processing			19	150	19	148
5. Equipment's for Construction			-	16	-	16
6. Aluminum Frame Making			-	16	-	16
7. Architectural Drawing			-	7	-	7
8. Study Visit the Construction Project			-	11	-	11
9. Architectural Drawing by Computer			-	12	-	12
10. Art Work for souvenir			-	2	-	2
11. Fiber glass Products			-	3	-	2
12. Furniture Making			-	1	-	1
13. Industrial sewing Machine Operation			-	16	-	16
14. Construction Management & Estimating			23	-	23	-

Courses	Plan		No. of Attendant		No. of Graduate	
	1995	1996	1995	1996	1995	1996
Electricity and Electronics Technology Development	100	1,500	899	1,079	887	1,079
Section						
1. Computer Training for Government Official (Compulsory courser PC5 PC6)			117	322	117	322
2. Computer for Administrator			-	67	-	67
3. Computer Problem Solving Technique			122	52	122	52
4. Production Control by Micro processor			21	16	21	16
5. Programable Logic Control			27	10	27	10
6. Alien data base Program			-	96	-	96
7. Microcomputer & Application			286	310	279	310
8. Underground cable & pipe line inspection			-	13	-	13
9. Wiring			-	13	-	13
10. Process control & measuring equipment			-	2	-	2
11. Radio and TV Repair			-	12	-	12
12. P. C. Hardware			-	2	-	2
13. Basic Computer (Trainer)			112	8	112	8
14. Information Technology for Administrator			-	13	-	13
15. Making Work Sheet by Computer			18	1	18	1
16. Computer for general gov't officer			46	125	41	125
17. Inter-Net Workshop			-	1	-	1
18. Computer Hardware			-	1	-	1
19. Microsoft Window Word 6			88	15	88	15
20. Windows and Application			22	-	22	-
21. Basic Unix Administration			20	-	20	-
22. INGRESS Management			20	-	20	-

BACKGROUND

The Lower Northeastern Institute for Skill Development Ubon-Ratchathani (UBISD) is located on Khang Arvut Road, Tambon Khanyai, Amphur Muang, Ubon-Ratchathani Province and covers an area of 91 rai (about 145,600 m²). It is the eight Institute for skill development attached the Department of Labour Skill Development, Ministry of Labour and Social Welfare.

The UBISD was conceived as a Grant Aid Cooperation Project between the Governments of Japan and Thailand. The Japanese Government through the Japan International Cooperation Agency (JICA), allocated 2,337 millions as Event Aid for the construction of building and workshop equipments and facilities, ect. The Thai Government made available for the preparation, of land, the construction of staff house supplied it with all infrastructure and necessary Services.

Furthermore, The Japanese Government agreed to continue a technical cooperation for 5 years (1988-1993) in dispatching experts from various fields, in offering funds for Thai staff to be trained in Japan, and equipment for workshops, One of the Projects carried out by the UBISD is the establishment of the Instructor Training centre at the National Institute for Skill Development (NISD), in Bangkok.

Thai contribution includes experts, equipment and follow ships. The centre will provide training for instructors before teaching session at various Institutes.

Objectives

1. To develop efficient and effective skill training programmes for unemployed youth to enable them to enter the labour market;
2. To develop the manpower standard of those persons already employed in the labour market or selfemployed to have better skill in pursuance of the National Policy for industrial production;
3. To promote industrial business in developing thier organization and tourism industry;
4. To develop the manpower in the rural areas for their incomes and employment;
5. To promote the cooperation between the govermental and private sectors for training.

UBISD responsible areas

UBISD is established in response to the skill training requirement to govern the 7 provinces in the lower north eastern part of Thailand. There are Ubon-Ratchathani, Srisaket, Yasothon, Roi-et, Amnart Charoen, Mukdahan and Nakorn Phanom.

TRAINING ACTIVITIES

UBISD takes its responsibilities on the training activities, in order to get acheivement on its activites. The main trainings are as following;

1. Pre-Employment training course provides basic skill training, especially for the youths in the age range of 15 - 25 years who neither have a chance to continue thier education qua lification suitable for theoretical courses at the institute 6 - 10 months and 2 - 3 months in the in-plants. The application periods starts in April - May and the course will open in June. Institute Curriculum for 6 months, apply for trainees twice a year, Starts apply during April-May, October, November and starts training in June, December. There are 17 trades as following,

No.	Trades	Qualifica tion	Training Period	
			In UBISD	In-plant
1.	Cabinet Making	P.6	6 Months	3 Months
2.	Plumbing	P.6	6 "	3 "
3.	Painting	P.6	6 "	3 "
4.	Ceramics (Forming)	P.6	10 "	2 "
5.	Ceramics (Painting)	P.6	10 "	2 "
6.	Block Layer and Plasterers	P.6	3 "	2 "
7.	Dress Making	P.6	3 "	1 "
8.	Automotive	P.6	10 "	2 "
9.	Agro-Mechanics	P.6	6 "	3 "
10.	Motorcycle Repair	P.6	6 "	3 "
11.	Auto-Body Repiar	P.6	10 "	2 "
12.	Welding and Sheet Metal	P.6	6 "	3 "
13.	Welding Manufactorial	P.6	6 "	3 "
14.	Welding Semi Automatic	P.6	6 "	3 "
15.	Machinery	M.3	10 "	2 "

No.	Trades	Qualifica tion	Training Period	
			In UBISD	In-plant
16.	Electricity	M.3	6 "	3 "
17.	Refrigeration & Air Condition	M.3	6 "	3 "
18.	Electronics	M.3	10 "	2 "
19.	Assistant Foreman	M.3	10 "	2 "

2. **Up-Grading Training:** Evening courses will be available upon request for the present workers who wish to improve their knowledge and skill. Training periods starts at 6.00-8.00 PM. on everyday without any charges. The application will begin in February, June, and October. The course start by the first week of the next of application month. The course are as following:

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 2.1 Car Maintenance | 2.2 Car Tune-up |
| 2.3 Car Electricity | 2.4 Agro-Mechanics |
| 2.5 Electrical Wiring | 2.6 Motor Winding |
| 2.7 Transistor Circuits | 2.8 Mechanical Measurement |
| 2.9 Profile Turning | 2.10 Thread Cutting |
| 2.11 Arc Welding | 2.12 Gas Welding |
| 2.13 Architectural Drawing | |

3. **Mobile Training:** This programme provides jop training for the unemployed persons who are in their working age and

live in the remotes areas. The training period is 58 days. There are small agro-mechanics, motorcycle repair, welding and sheet metal, mold making and cement jar making, ect.

4. Special Training and Promotion of In-plant Training

Special Training: This is non-technical training for the unemployed persons to enable them to earn better incomes in the local areas. It promotes and supports the industrial business in the lower northeastern areas. Training period is 30-60 hours. The courses are as follows:

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 4.1 House Maid | 4.2 Waiter, Waitress |
| 4.3 Receptionist | 4.4 Local tourist Guide |
| 4.5 Dressmaking | 4.6 Self-Employment |
| 4.7 Guards & Security | |

Promotion of in-plant training: This programme is aimed at helping the business operators to have a basic knowledge in management and administration for improvement of their personels. Training period is 60 hours. There are 3 course:

1. Principle of Supervisors
2. Technique in Teaching
3. Training Officers

5. Trade Standard and Testing: This programme is to classify the standard for labour skill to in compliance with the National Trade Standard. It also offers test of labour skill for those who wish to work in abroad.

6. Skill Competition UBISD has been provided the first

skill competition in 1991. It provided 14 trades. There were 150 applicants. The 123 candidates has passed the semi-final test and 23 candidates passed to be in the final test. The next 2nd competition will be held in 1993.

The Report Training

The Ubon Institute for Skill Development

1. Pre-employment Training

No.	Training Period	Applicant	Trainees	In-plant Graduated	Get Jop
1.	19 June 89 - 5 April 90	1,491	333	282	193
2.	4 June 90 - 21 June 91	1,214	334	304	219
3.	3 June 91 - 4 June 92	950	335	274	212
4.	24 June 92 - 7 April 93	879	376	296	231
5.	1 June 93 - 16 March 94	721	385	268	235
6.	1 June 94 - 14 March 95	712	473	280	265
7.	1 December 94 - 14 March 96	1,779	1,568	113	106
8.	10 December 95 - 16 March 97	2,189	1,814	406	402
	Total	9,935	5,618	2,223	1,863

2. UP-GRADING TRAINING

Fiscal Year	Applicant	Trainees	Dropped out	Failure	Graduated
1989	163	145	29	8	108
1990	315	247	35	31	181
1991	603	457	22	53	382
1992	297	218	28	19	171
1993	594	410	49	64	297
1994	582	456	-	185	271
1995	1,652	1,656	-	207	1,449
1996	585	585	-	101	484
Total	4,791	4,174	163	668	3,343

3. MOBILE TRAINING

Fiscal Year	No. Courses	Trainees	Graduated	Remark
1989	3	80	80	
1990	33	824	822	
1991	48	1,127	978	
1992	52	1,634	1,530	
1993	42	1,056	883	
1994	25	599	551	
1995	334	6,983	6,974	
1996	343	7,076	6,991	
Total	880	19,379	18,809	

4. IN-PLANT AND SPECIAL TRAINING

Fiscal Year	No. Courses	Trainees	Graduated	Remark
1989	5	156	156	
1990	10	502	502	
1991	71	1,817	1,748	
1992	18	400	371	
1993	18	545	507	
1994	29	898	841	
1995	44	2,056	2,034	
1996	30	1,673	1,641	
Total	225	8,047	7,800	

5. TRADE STANDARD AND TESTING

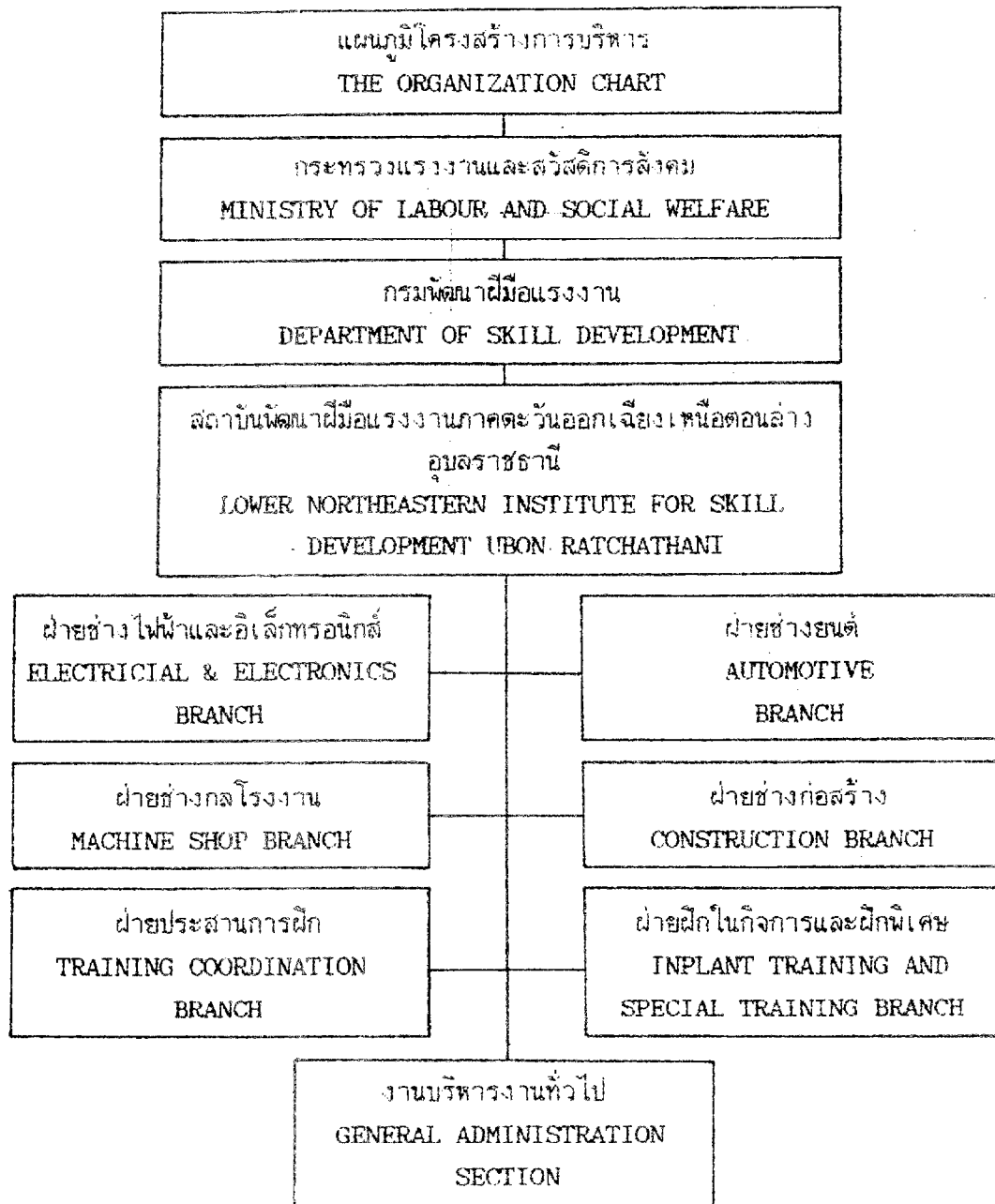
Fiscal Year	Applicants	Trainees	Graduated	Remark
1990	50	48	17	
1991	95	82	12	
1992	138	128	87	
1993	326	294	160	
1994	473	383	211	
1995	910	1,500	986	
1996	823	725	406	
Total	2,815	3,160	1,879	

6. SKILL COMPETITION

Fiscal Year	Applicants	Competitor	Winner	Remark
1991	150	123	-	
1994	121	89	1	* NO.3 (Plumbing)
Total	271	212	1	

NO.	Activities	Total	Output
1.	<u>100 days Operations Plan</u>		
	1.1 Working under Agriculture Apprenticeship	491	491
	1.2 Army Engineering Teacher	70	70
	1.3 Comsoripling	41	41
	1.4 The INSPECT OF Instructor from private sector	18	18
2.	<u>A Plan to slow down worker retocating</u>		

NO.	Activities	Total	Out.put
	2.1 Mobile Training	462	462
	2.2 Coordination Mobile	5,299	5,299
	Training provices		
	2.3 Consoripting	292	292
	2.4 Survey wants skill labour	657	657
	Total	7,330	7,330



Comparison of Plan and Output of Skill Training : Fiscal Year 1989-1995
 Ubolachathanee Institute for Skill Development

Activities	1989		1990		1991		1992		1993		1994		1995		Total	
	Plan	Output	Plan	Output	Plan	Output	Plan	Output	Plan	Output	Plan	Output	Plan	Output	Plan	Output
Skill Training																
1. Pre-Employment Tr.	335	333	428	344	363	335	388	376	411	386	430	473	1273	1568	3628	3815
2. On-the job Tr.	-	-	300	282	344	302	312	278	368	295	287	268	430	435	2041	1860
3. Up-Grading Tr.	100	145	200	247	400	457	400	336	300	410	400	456	1489	1656	3289	3707
4. Rural Tr.	70	80	620	824	1,000	1,127	800	1,634	1,000	1056	540	599	1000	1075	5030	6395
5. Non-Technical Tr.	100	156	200	502	1,400	1,817	360	400	1,000	543	850	898	1257	2056	5167	6372
Occupational Skill Standard																
6. Skill Testing	-	-	100	50	100	95	100	138	100	426	300	473	750	1542	1450	2724
7. Skill Competition	-	-	-	-	200	150	-	-	-	-	100	121	-	-	300	271
Special Project																
1. A Hundred Day Action Plan	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	490	620	-	-	490	620
2. Project for the Agricultural Off-Season of Labour	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5200	6710	1041	1868	6241	8578
3. Project of the Better Living Improvement for the Flood Victims	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1800	4040	1800	4040
Total	605	714	1,848	2,249	3,807	4,283	2,360	3,162	3,179	3,116	8,597	10,618	9,040	14,240	29,436	38,382

Output of Skill Training : Fiscal Year 1996

1 October 1995 - 30 September 1996

Number	Type of Training	Plan	Output	Remarks
1	Pre-Employment Tr.	1,700	2,438	
	Cont'd from '95	-	* 634	Exclude of the total
	Ordinary Plan		883	
	Pre-Demobilized Conscripts		669	
	Tr. for Prisoner		493	
	Tr. for Buddhist Monk		343	
	Tr. for Youth age 13-15		40	
	Tr. for the King's Project		10	
2	Upgrading Tr.	1,100	880	
	Institutional Tr.	560	634	
	Mobile Tr.	540	246	
3	Non-Technical Tr.	675	2,152	
4	Rural Tr.	4,460	7,950	
	Ordinary Plan		574	
	Project of the Better Living Improvement for the Flood victims		7,376	
5	National Skill Testing	1,250	846	
6	Training Personnel Development	180	2	
Total		10,465	25,536	

付属資料 5. UBISD の養成研修実績及び予算の推移 (1992~1996)

The Result of Pre-employment Training
for fiscal year 1992

Trade	Applicants	Attendees	Successful	Drop-out	Graduates	Get a job	Get a job (%)
Auto-motive	302	87	71	71	70	31	44.28
Automechanic	205	41	35	35	35	17	48.6
Agromechanic	50	22	18	18	18	10	55.5
Carbody repair	47	24	18	18	17	4	23.5
Machinery Shop	288	104	88	88	85	51	60
Machinist	145	45	40	40	39	18	46.1
Welding and Sheet metal	85	59	48	48	46	33	71.7
Electrical	220	78	49	49	47	31	65.96
Electrical	69	25	17	17	17	10	58.8
Air condition & Refrigerator	56	25	16	16	16	14	87.5
Electronics	104	23	16	16	14	7	50
Building Con	120	112	88	87	84	57	67.46
Cabinet	22	22	16	16	16	9	56.2
Painting	25	25	21	21	21	8	38.1
Pipe Fitting	14	14	10	9	8	7	87.5
Ceramics (Forming)	19	12	9	9	9	9	100
Ceramics (Painting)	18	18	13	13	13	13	100
Assistant Foreman	32	21	19	19	17	11	64.7
Total	391	378	296	295	286	170	59.44

The Result of Pre-employment Training
for fiscal year 1993

Trade	Applicants	Attendees	Successful	Drop-out	Graduates	Get a job (%)	Get a job (%)
Auto-motive	242	91	78	70	64	47	73.44
Automechanic	147	46	39	36	32	26	81.25
Agromechanic	52	22	16	16	16	11	68.7
Carbody repair	43	23	18	18	16	10	62.5
Machinery Shop	157	107	69	87	84	76	90.47
Machinist	96	46	42	40	40	37	92.5
Welding and Sheet metal	61	61	47	47	44	39	88.6
Electrical	198	85	89	39	88	87	97.37
Electrical	55	21	17	17	17	17	100
Air condition & Refrigerator	45	22	13	13	12	12	100
Electronics	98	22	9	9	9	8	88.8
Building Con	124	123	99	91	82	77	98.9
Cabinet	21	21	15	15	14	14	100
Painting	33	32	28	27	26	22	84.6
Pipe fitting	16	16	13	12	7	7	100
Ceramices (Forming)	18	18	14	12	12	12	100
Ceramices (Painting)	16	16	13	10	10	10	100
Assistant Forman	20	20	16	15	13	12	92.3
Total	721	386	300	257	268	237	88.4

The Result of Pre-employment Training
for fiscal year 1994

Trade	Applicants	Attendees	Successful	In-plant	Graduates	Got jobs	Got job (%)
Auto-motive	234	104	89	89	84	69	82.14
Automechanic	172	54	46	46	43	32	74.42
Agromechanic	30	27	24	24	22	18	81.81
Carbody repair	32	23	19	19	19	19	100
Machinery Shop	200	190	101	100	89	88	100
Machinist	85	58	48	48	42	42	100
Welding Semi Automatic	48	30	23	23	22	22	100
Welding Manufactorial	30	22	17	16	14	14	100
Welding and Sheet metal	37	20	13	13	11	11	100
Electrical	199	80	70	60	57	57	100
Electrical	92	28	27	27	26	26	100
Air condition & Refrigerator	35	30	28	20	18	18	100
Electronics	106	22	15	13	13	13	100
Building Con.	85	86	62	57	50	50	100
Cabinet	16	16	11	11	8	8	100
Painting	22	22	20	20	17	17	100
Pipe fitting	15	15	10	5	5	5	100
Ceramices (Forming)	9	9	7	7	7	7	100
Ceramices (Painting)	5	5	3	3	3	3	100
Assistant Forman	18	18	11	11	10	10	100
Total	712	399	322	306	280	266	94.64

The Result of Pre-employment Training
for fiscal year 1995

Trade	Applicants	Attendees	Successful	Employed	Graduates	Get a job	Get a job (%)
Auto-motive	417	320	219	216	184	190	97.94
Automechanic	76	71	54	53	50	48	96
Motorcycle Repair	154	123	85	83	71	69	97.18
Agromechanic	160	99	68	68	66	66	100
Carbody repair	27	27	12	12	7	7	100
Machinery Shop	379	241	164	160	141	141	100
Machinist	133	95	71	69	62	62	100
Welding Manual	81	81	45	43	36	36	100
Welding Semi Automatic	65	65	48	48	43	43	100
Electrical	238	162	127	124	114	110	96.49
Electrical	107	66	53	52	49	47	95.92
Air condition & Refrigerator	59	45	40	38	34	33	97.06
Electronics	72	51	34	34	31	30	96.77
Building Con	126	122	77	77	70	67	96.71
Cabinet	10	10	3	3	1	1	100
Painting	53	52	29	29	25	25	100
Pipe Fitting	5	5	2	2	2	2	100
Ceramics (Forming)	15	13	8	8	8	8	100
Ceramics (Painting)	19	19	15	15	14	13	92.85
Assistant Forman	24	23	20	20	20	18	90
Total	1,060	845	587	577	519	508	97.88

The Result of Pre-employment Training

for fiscal year 1996

Trode	Applicants	Attendants	Successful	In plant	Graduates	Cost of job	On the job
Auto-motive	389	304	239	235	220	188	85.45
Automechanic	94	70	58	58	58	46	79.31
Agromechanic	88	80	60	58	47	38	80.85
Motorcycle Repair	135	111	92	90	86	78	90.69
Auto-Body repair	72	43	29	29	29	26	89.55
Machinery Shop	335	218	174	170	155	139	89.67
Machinist	94	67	55	55	55	44	80
Welding Manufactorial	145	78	67	69	56	54	96.42
Welding Semi Automatic	96	73	52	46	44	41	93.18
Electrical	378	235	190	176	173	156	90.17
Electrical	172	102	88	82	80	78	97.5
Air condition & Refrigerator	109	81	59	51	50	42	84
Electronics	92	52	43	43	43	36	83.72
Building Con	170	138	101	101	101	85	93.1
Cabinet	39	25	17	17	16	16	100
Painting	72	50	39	39	34	32	94.11
Pipe ritting	16	15	7	7	6	6	100
Ceramics (Forming)	8	8	5	5	5	5	100
Ceramics (Painting)	27	18	16	16	16	12	75
Assistant Forman	17	17	17	17	14	14	100
Total	1,276	890	704	682	639	568	88.88

งบประมาณปี ๒๕๓๕ - ๒๕๓๖
Budget for FY 1992-1993

	หมวดรายจ่าย Expenditure	ปีงบประมาณ	
		๒๕๓๕	๒๕๓๖
Salaries & Wages	1. เงินเดือนและค่าจ้างประจำ	5,501,600	7,092,300
Temporary Wages	2. ค่าจ้างชั่วคราว	612,000	1,269,900
Remuneration	3. ค่าตอบแทนให้สภกรและวัสดุ	6,729,500	6,409,800
Utilities	4. ค่าสาธารณูปโภค	1,221,600	1,400,000
Infrastructure	5. ค่าครุภัณฑ์ ที่ดิน และสิ่งก่อสร้าง	1,289,300	831,700
	รวม Total	14,854,000	17,008,700

To Mrs. TAWA

From UBISD.

สถาบันพัฒนาฝีมือแรงงาน ๓ อุดรธานี
รายงานการใช้จ่ายเงินงบประมาณ ปี 2536

Budget Expenditure : Year 1993

งาน/โครงการ/หมวดรายจ่าย Plm / Project	เงินประจำงวด ที่ได้รับ Budget	ยอดเงินงบประมาณ ที่ใช้จริง Expenditure	เงินประจำงวด คงเหลือ Balance	หมายเหตุ
แผนงานงบกลาง : Administration Section				
1. การบริหารงานทั่วไป	1,252,283.01	1,252,213.81	69.20	- General Administration
2. พัฒนาฝีมือแรงงานตามความต้องการของตลาดแรงงาน				- Skill Development
- งานฝึกเตรียมเข้าทำงาน	2,822,204.64	2,822,204.64	-	
- งานฝึกยกระดับฝีมือแรงงาน	130,116.37	130,116.37	-	
- งานส่งเสริมการฝึกในกิจการและฝึกพิเศษ	445,717.38	445,717.38	-	
- งานฝึกช่างชนบท	153,320.06	153,320.06	-	
3. ทดสอบมาตรฐานฝีมือแรงงาน	240,318.55	240,318.55	-	- Occupational skill standards
4. เงินอุดหนุน	-	-	-	- Subsidies.
รวม	5,043,960.-	5,043,890.80	69.20	

สถาบันพัฒนาฝีมือแรงงาน ๕ อุบลราชธานี
รายงานการใช้จ่ายเงินงบประมาณ ปี 2538

Year 1995

งาน/โครงการ/หมวดรายจ่าย Plan / Project	เงินประจำงวด ที่ได้รับ Budget	ยอดเงินงบประมาณ ที่ใช้จริง Expenditure	เงินประจำงวด คง.เหลือ Balance	หมายเหตุ
แผนงานบริหารและพัฒนาแรงงาน				-Administration and Skill Development
1. การบริหารงานทั่วไป	1,619,400.-	1,392,727.45		
2. พัฒนาฝีมือแรงงานตามความต้องการของตลาดแรงงาน				
- งานฝึกเตรียมเข้าทำงาน	2,616,500.-	2,692,900.80		
- งานฝึกยกระดับฝีมือแรงงาน	595,000.-	582,894.91		
- งานส่งเสริมการฝึกในกิจการและฝึกพิเศษ	101,000.-	88,929.40	35,704.36	
- งานฝึกช่างซ่อม	2,624,000.-	2,740,224.68		
3. ทดสอบมาตรฐานฝีมือแรงงาน	200,000.-	223,168.42		-Occupational Skill Standards.
4. เงินอุดหนุน	774,000.-	773,350.-		-Subsidies.
รวม	8,529,900.-	8,494,195.64	35,704.36	

สถาบันพัฒนาฝีมือแรงงาน ๑๐๖ กรุงเทพมหานคร
 รายงานการใช้จ่ายเงินงบประมาณ ปี ๒๕๓๖

Year 1993

งาน/โครงการ/หมวดรายจ่าย Plan / Project	เงินประจำงวด ที่ได้รับ Budget	ยอดเงินงบประมาณ ที่ใช้จริง Expenditure	เงินประจำงวด คงเหลือ Balance	หมายเหตุ
1. แผนงานบริหารและพัฒนา แรงงาน งานพัฒนาฝีมือแรงงาน				- Administration and Skill Development
- เงินเดือน - ค่าจ้างประจำ	-	9,354,339.17	-	
- เงินเดือน	-	5,810,644.98	-	
- ค่าจ้างประจำ	-	3,873,414.14	-	
- ค่าตอบแทน ใช้สอยและวัสดุ	13,307,700.-	13,252,062.22	55,637.78	
- ค่าสาธารณูปโภค	225,800.-	223,611.-	2,189.-	
- ค่าครุภัณฑ์ที่ดินและก่อสร้าง	-	-	-	
- เงินอุดหนุน	2,065,000.-	2,030,750.-	34,250.-	
งานพัฒนาบุคลากร	90,000.-	58,176.-	31,824.-	- Narcotic Drug Prevention & Revise Plan.
2. แผนงานบัณฑิตศึกษา และควบคุม คุณภาพศึกษาและสารเสพติด	21,000.-	20,400.-	600.-	
3. แผนงานป้องกันและควบคุม โรคเอดส์	336,400.-	326,117.-	10,283.-	- AIDS contact Prevention & Revise Plan.
4. แผนงานบริหารและพัฒนาแรงงาน (โครงการส่งเสริมการ พัฒนาฝีมือแรงงานแก่ครอบครัว ผู้ติดเชื้อโรคเอดส์	839,200.-	824,494.22	14,705.78	- AIDS. contact Economic Potentiality Development Project
5. แผนงานงบกลาง	3,048,000.-	3,023,344.-	24,656.-	- Control Planning
รวม	19,923,100.-	29,113,293.61	164,145.56	

付属資料 6 . 本邦研修を受けたカウンターパートの現配属先

1. Mr. Thanat Srina	Director of Wat Tat-Throng Center for Skill Development
2. Mr. Surapol Phuchaimueng	Vocational Training Official Level 7, Nakon Sawan Institute for Skill Development
3. Mr. Panya Sretta	Transfer to other firm
4. Mr. Senti Srilulcha	Vocational Training Official Level 6, Nakon Rachasima Institute for Skill Development
5. Mr. Santrira Ketphan	Director of Phitaanuik Institute for Skill Development
6. Mr. Jaroen Yinglum	Vocational Training Official Level 7, Surathani Institute for Skill Development
7. Mrs. Jariya Khanthanrit	Department of Protection
8. Mrs. Rachani Suwatti	Inspector Level 8
9. Danal Ketsiri	Transfer to other firm
10. Mr. Phrloths Srtthanya	Director of Cooupational Skill Standards Division
11. Mr. Parinya Nuengudom	Vocational Training Official Level 6, Design and Construction Division
12. Mr. Pongsak Maemalal	Vocational Training Official Level 6, Ubonratchatheni Institute for Skill Development
13. Mr. ChalnarIn Farolnyo	Vocational Training Official Level 6, Institute for Training Presonel Development
14. Mr. Chuask Teulpresong	Vocational Training Official Level 6, National Institute for Skill Development
15. Mr. Monchai Arwuttawin	Transfer to other firm
16. Mr. Chana Kwanprorn	Transfer, UBISD
17. Mr. Kittsak Daewniengkan	Vocational Training Official Level 6, Nakonsawan ISD.
18. Mr. Kanapong Tepakorn	Transfer to other firm
19. Mr. Somboonsuk Nakirak	Level 7, Lampang ISD.
20. Miss Gayyoon Kanarungrueng	Level 7, Skill Development Technology Division
21. Mr. Wiohien Chantarasiri	Inspector of DSD
22. Ms. Khomkhai Choiratanakul	Level 7, Phitsanulok KSD.
23. Mr. Jetsada Chan-ural	Level 5, UBISD
24. Mr. Arkhong Obrom	Transfer
25. Mr. Petchelek Thongphuthom	Level 5, UBISD

After Care Project Proposal
For the Project of
The Establishment of the Lower Northeastern Institute
for Skill Development,
Ubon Ratchathani (UBISD)

Project Proposal Part I

After Care Project for the Lower Northeastern Institute for Skills Development, Ubon Ratchathani (UBISD)

1. History

After care is a project for which the Japanese Government has granted aid to the Thai Government to establish the Skills Development Institute for the Lower Northeastern, Ubon Ratchathani. In the meantime, the institute was under the supervision of the Department of Labor, Ministry of Interior. An exchange note was signed on the 18th of September 1987. The total supporting grant of 2,337 million yen (approximately 467 million baht) was divided among the construction costs of the administration building, training building, dormitory, and training machines/tools. The agreement has a condition that the Thai government is responsible for acquiring the land as well as filling and leveling it with soil, and is responsible for public utilities, employees' residences, and the administration budget.

The institute is located on Klang Arwut Road, Khamyai Subdistrict, Muang District, Ubon Ratchathani Province. Construction was started in early 1988. It was completed and handed over to the Department of Labor on 23 March 1989. The official opening day was 28 September 1989. His Royal Highness the Crown Prince acting on behalf of His Majesty the King, went to preside over the opening ceremony and paid a visit to the institute.

During 5 years of the project (1988-1993), the assistances from Japanese government were divided into 2 parts:

(1) Financial Cooperation

The Japanese Government had supported establishing the Institute since 1987. The total sum of the granted aid of 2,337 million yen, or approximately 467 million baht, was divided into

(1.1) The construction costs for the administration building, the training building, and the dormitory: 280 million baht

(1.2) The costs for machines, training tools and their installation: 187 million baht.

(2) Technical Cooperation

(2.1) Training Thai officers in Japan

Course	Length	Thai Officer	Title
Year: 1988			
- Controlling machines with computers	9 months	Mr. Thanat Srina	- Factory Mechanic
- Automobile Engineering	9 months	Mr. Surapol Phuchaimuang	- Machinery Technician
- Electrical and Cooler Engineering and	9 months	Mr. Panya Srettha	- Electrical & electronic technician
- Metal Welding and Plating	9 months	Mr. Santi Srikulcha	- Factory Mechanic
- Teaching Techniques	9 months	Mr. Santhra Ketphan	- Teacher Training and Development
- Developing Teaching-aid Tools	9 months	Mr. Jaroen Yinglum	
Year: 1989			
- Teacher Training and Teaching Techniques	2 weeks	Mrs. Jariya Khanthawit	- Teacher Training and Development
		Mrs. Rachani Suwatti	- Teacher Training and Development
- Project Management	10 days	Commissioned Officer Danai Ketsiri	- Provincial Governor
- Project Management	2 weeks	Mr. Phricha Srithanya	- Director
- Terra Cotta	9 months	Mr. Parinya Nuang-udom	- Construction Technician

Course	Length	Thai Officer	Title
Year: 1990 - Machinery	7 months	Mr. Pongsak Masmalai	- Machinery Technician
- Factory Mechanics	7 months	Mr. Chainarin Farpinyo	- Factory Mechanic
- Electronics	7 months	Mr. Chusak Teulprasong	- Electronic Technician
- Wood Skills	7 months	Mr. Monchai Arwuttaewin	- Construction Technician
Year: 1992 - Electricity	9 months	Mr. Chana Kwanprom	- Electrical Engineer
- Piping	9 months	Mr. Kitisak Daewwiengkan	- Construction Technician
- Painting	9 months	Mr. Kanapong Tepakorn	- Construction Technician
- Agro-Mechanics	9 months	Mr. Somboonsuk Nakirak	- Machinery Technician
- Japanese Labor	3 months	Miss Gayyoon Kanarungrueng	- Training Coordinator
Year: 1993 - Project Management	3 weeks	Mr. Wichian Chantarasiri	- Director
- Teaching Techniques	1 week	Miss Khomkhai Cholratanakul	- Planning
- Car Mechanics	9 months	Mr. Jetsada Chan-urai	- Machinery Technician
- Ceramics	1 month	Mr. Arkhom Obrom	- Ceramic Artist
- Air Conditioning	9 months	Mr. Petchlek Thongphuthorn	- Electrical Technician

(2.2) Japanese experts sent to work at the Skills Development Institute,
Ubon Ratchathani

No.	Name	Expert	Period
	Long-term expert		
1	Mr. Takuji Oyama	Consultant Supervisor	Oct.1988 - Sept.1993
2	Mr. Masaru Zuzuki	Project Coordinator	Oct.1988 - Jan.1992
3	Mr. Kizuke Onomura	Electronics	Dec.1988 - Dec.1992
4	Mr. Hidae-aki Kubota	Electric	Dec.1988 - Dec.1990
5	Mr. Mazami Hirayama	Machinery	Dec.1988 - Dec.1991
6	Mr. Hirochi Kato	Factory Mechanics	Dec.1988 - Mar.1990
7	Mr. Chiro Morimoto	Ceramics	Dec.1988 - Dec.1991
8	Mr. Taka-aki Watanabe	Teaching-aid Tools (Teacher Training Center)	Oct.1988 - Oct.1990
9	Mr. Yorio Kanemaru	Teaching-aid Tools (Teacher Training Center)	Oct.1988 - Oct.1991
10	Mr. Ezao Funanachi	Teaching Technique Expert (Teacher Training Center)	Oct.1988 - Oct.1991
11	Mr. Naoyaki Tomina-nga	Factory Mechanics	Dec.1990 - Sept.1992
12	Mr. Tochiro Ewamoto	Electric	Mar.1991 - Mar.1993
13	Mr. Tzunehiro Kawakita	Project Coordinator	Dec.1991 - Sept.1993
14	Mr. Jun Nokuji	Ceramics	Nov.1991 - Sept.1993
15	Mr. Nobuyuki Wachizu	Machinery	Nov.1991 - Sept.1993
16	Mr. Akifumi Akachi	Teaching Techniques	Oct.1991 - Oct.1993
17	Mr. Takeo Zazaki	Teaching-aid tools (Mechanics)	Oct.1991 - Oct.1993

No.	Name	Expert	Period
	Short-term Expert		
1	Mr. Hidio Uara	Refrigerators	5 Oct. - 5 Dec.1989
2	Mr. Kumiaki Kowatari	Welding	6 Sept. - 26 Dec.1989
3	Mr. Yazuhiro Kumakai	Teaching Tools Development	13 Sept. 1989 - 19 Jan.
4	Mr. Aszuwi Takahira	Car Painting	10 Apr. - 9 Jun.1990
5	Mr. Toshi Yakisawa	Metal Plate	10 Apr. - 9 Jun.1990
6	Mr. Masafumi Ijima	Teaching Tools Development	13 Sept.1989 - 19 Jan.
7	Mr. Yonezu Sakata	Agro-Mechanics	28 Feb. - 1 May 1990
8	Mr. Kassuhito Watanabe	Wood Skills	13 Sept. - 26 Dec.1990
9	Mr. Masahiro Takayama	Motorcycle	15 Nov.1991 - 16 Jan.
10	Mr. Riu-ichi Ar- oyama	Motorcycle	11 Jan. - 10 Mar.1992
11	Mr. Soyuji Kitakawa	Water Supply / Sanitary Ware	11 Jan. - 10 Mar.1992
12	Mr. Takhachi Sin	Refrigerator	11 Jan. - 10 Mar.1992
13	Mr. Takachi Kuroki	Factory Mechanic	1 Oct. - 1 Dec. 1992
14	Mr. Hiroaki Yonetani	Benzene Engine: Injection System	1 Nov. - 28 Dec. 1992
15	Mr. Ken Maruchima	Automatic Gear	28 Feb. - 29 Mar.1989

(2.3) Technology transfer by short-term experts

Course	Number of Attendants	Period
Year: 1989		
- Production of Teaching Media and Training-aid Tools	1	2 months
- Production of Teaching Media and Training-aid Tools	18	13 days
- Refrigerator Technician	2	2 months
- Welding Technician	5	2 months
- Metal Painting Technician	4	2 months
- Mechanics for Agriculture	2	2 months
Year: 1990		
- Car Body Repair	2	2 months
- Wood Skills	2	2 months
- Mechanical Installation	2	2 months
Year: 1991		
- Advanced Teaching Media Production	2	2 months
Year: 1992		
- Motorcycles	1	4 months
- Water Supply and Sanitary Ware	2	2 months
- Refrigerator and Air Conditioning	1	2 months
Year: 1993		
- Factory Mechanics	4	2 months
- Benzene Engine: Injection Systems	2	2 months
- Automatic Gears	2	1 month

(2.4) Curriculum Development

The experts and the coordinating officers initiated a curriculum development project to develop the old training modules. The syllabus was written to use a Skills Development guideline as follows:

1. Career Preparation Courses. There are 14 categories as follows:

- 1.1 Factory Mechanic
- 1.2 Welding and Sheet Metal Technician
- 1.3 Electrical Technician
- 1.4 Electronic Technician
- 1.5 Refrigerator and Air Conditioning Technician
- 1.6 Skilled Wood Craftsman
- 1.7 Painter
- 1.8 Piping and Sanitary Ware Technician
- 1.9 Potter (Clay molding)
- 1.10 Potter (Pottery painting)
- 1.11 Construction Controller
- 1.12 Car Mechanic
- 1.13 Agriculture Mechanic
- 1.14 Car Body Repair Technician

2. Rural technician training courses. There are 11 categories as follows:

- 2.1 Small Agricultural Vehicle Repairer
- 2.2 Motorcycle Repairer
- 2.3 Indoor Electricity Wiring Technician
- 2.4 Electricity Appliance Repairer
- 2.5 Metal Welding Technician
- 2.6 Big Cement Jar Modeling and Molding Technician
- 2.7 Surface Ground Water Piping technician
- 2.8 Radio Repairer

- 2.9 Community Water Supply Technician
- 2.10 Electrical Welding (for Agriculture) Technician
- 2.11 Cement Brickmaker

2. Rationale

The Lower Northeastern Institute for Skills Development, Ubon Ratchathani, was established to

- develop working skills in the youth and the unemployed, so that they can use their knowledge as a tool to enter the job market and work effectively
- increase the quality and the standard of the work force in industrial businesses, as well as in the private sector
- support and promote the industrial business development
- promote local tourism industries
- develop self-help ability in the rural work force, so that they can use the knowledge to operate their jobs
- promote the cooperation between the government sectors and the private sectors for Skills Development
- accommodate industrial expansion in 7 responsible provinces: Ubon Ratchathani, Srisaket, Yasothorn, Roi Et, Mukdahan, Nakorn Panom, Umnajcharoen.

The project has been supported by the Japanese Government since 1987. The cooperation was completed in 1993 leading to advanced technology development, especially in the area of Automobile Technology, Electronics, Computers, Mechanical Engineering, and Telecommunication Systems. The Skills Development Institute, Ubon Ratchathani, had received cooperation from the Japanese Government for over 9 years. At present, the machines in some certain technical fields, such as Car Mechanic, Factory Mechanic, Electrical and Electronic Technician, are involved in computers and electrics. This is to prepare the labor force to improve their knowledge, abilities, skills, and quality to meet the demand that is emerging in the labor market in the urban industrial sector. This is also to prepare the labor force for the expansion of industrial development into rural areas. However, certain types of tools/machines were out of

repair and substitutes could not be found within the country. Therefore a support project was established to provide support for some types of tools/machine at the Institute.

3. Objectives

- (3.1) to continually improve the technology of the Skills Development Institute, Ubon Ratchathani, to meet the industrial expansion and technological advancement
- (3.2) to prepare the labor force to improve their knowledge, abilities, and skills to meet the demands of the job market
- (3.3) to provide support for tools/machines that have broken down and for which substitutes could not be found within the country.

4. Target Group

- (4.1) New labour force
- (4.2) Unemployed
- (4.3) Employed Worker
- (4.4) Pre-demobilized Conscript
- (4.5) Prisoner
- (4.6) Buddhist Monk
- (4.7) Private/Public Employee

5. Operation Location

The Lower Northeastern Institute for Skills Development, Ubon Ratchathani

6. Operation Period

1997 - 1998

7. Counterpart Organization

The Lower Northeastern Institute for Skills Development, Ubon Ratchathani, Department of Skill Development

8. Requested Assistance

(8.1) New equipment

In order to replace or substitute the old ones (See attachment I)

(8.2) Broken Tools/Machines

Being proposed for repairing budget (See attachment II)

(8.3) Expert

Field of expert	Quantity
1) Mechanical Fitting	1
2) Automatic Transmission	1
3) Electrical Fuel Injection (EFI) for Gasoline Engine	1
4) Car Body Repair	1
5) Assistant Foreman	1
6) Electrical Power	1
7) Electronics	1
8) Air Conditions & Refrigeration	1
9) Audio-Video	1
10) Terra-Cotta	1

(8.4) Scholarship

Course Title	Duration	Quantity
1) Vocational Training Management & Administration	1 month	5
2) Assistant Foreman	3-6 months	2
3) Car Body Repair	3-6 months	2
4) Machinery	8 months	1
5) Electronics & Electrical	8 months	1
6) Construction	8 months	1
7) Automotive	8 months	1
8) CNC Machine Control	8-10 months	1
9) Automatic Welding System	8-10 months	1

9. Expected Benefits

- (9.1) To be able to develop labor skills to an advanced technology level to accommodate demands from the labor market: 100,000 persons/year
- (9.2) To improve the skills of the Unemployed, as well as the Employed, to an advanced technology level. To increase their average income to 10,000 baht/month/person, for a total of 5,000 persons/year. (Total 600,000,000 baht/year)
- (9.3) To reach the goals of the initiated project: The Establishment of the Lower Northeastern Institute for Skills Development, Ubon Ratchathani, and to continually improve the technology to accommodate the demand in the labor market.

10. Project Counterparts Officers

10.1 Mr. Suchat Limrat	Planning and Evaluation Chief
10.2 Miss Daruni Panpetch	Vocational Training Administrator 6
10.3 Mr. Bancha Thasangkha	Vocational Trainer 4
10.4 Mrs. Pornsiwarak Philsa-ard	Vocational Training Specialist 4
10.5 Miss Sopa Wapiso	Librarian 1
10.6 Miss Arisa Chanthani	Supply Officer 1

11. Person bearing responsible for the project

The Director of the Lower Northeastern Institute for Skills Development,
Ubon Ratchathani

Project Proposal Part II

After-Care Project for the Instructor Training Centre

1. Background

Under UBISD Project the Japanese government also provided grant to establish the Instructor Training Centre in Bangkok attached to the National Institute for Skill Development : NISD (renamed Central Institute for Skill Development : CISD). The Centre is now developed and promoted to be the Institute for Training Personnel Development.

2. Present Status

Having status equivalent to division level, the Institute for Training Personnel Development has main duties of organizing training for personnel responsible for skill development in both public and private sector to increase their knowledges and capability to keep pace with changing technology and teaching methodology.

The Institute is divided into 8 sections according to its duties and responsibilities as follows :

1. General Administration Section
2. Development of Instruction Technique and Management Section
3. Industrial Technology Development Section
4. Mechanical Technology Development Section
5. Planning and Development Coordination Section
6. Construction Technology and Industrial Art Development Section
7. Technical Development for Electricity and Electronics Section
8. Personnel Development Section

3. Rationale

Due to the changing of industrial technology which occurring day by day caused the problem of skill shortage of workers. Many businesses or companies are lack of capability to organize personnel development training by themselves. Therefore, number of training needs in various subjects by private sector requested to the Institute are increasing.

Having the role of providing the development, through training, for personnel in vocational organizations and industrial companies, major components which are needed to run these activities effectively are

- 1) Updated training materials/machines/equipments
- 2) Updated training curriculum
- 3) Qualified and competent instructor/trainer

Since the project of UBISD finished in 1993, all the mentioned components need to be developed in order to match with the expanded activities and responsibilities. The particular assistances from Japan through after-care project will assist the Institute, as well as DSD, to reach its objective of personnel development within DSD and outsided organization

4. Objectives

The objectives of this after-care project include :

- 1) Developing and increasing number of training materials/equipments/tools to be used in each section to match with updated technology and number of trainee by requesting replacement or repairing.
- 2) Developing training curriculum to match with current needs of clients by requesting advisory through particular experts.
- 3) Developing training personnel/instructors of the Institute to have updated knowledge and skill in accordance with changing industrial technology by requesting scholarship to be trained in Japan

5. Target Group

- 1) DSD personnel/Instructor
- 2) Training Personnel/Vocational Instructors in other public organizations
- 3) Workers/Employee of Private Companies
- 4) Vocational Instructor from neighboring countries such as Laos, Cambodia, Myanmar, Vietnam.

6. Operation Location

Department of Skill Development (DSD) Mitr-Maitri Rd., Din-Daeng Bangkok 10320

7. Operation Period

1997-1998

8. Counterpart Organization

The Institute for Training Personnel Development, Department of Skill Development

9. Requested Assistance

9.1) Training Materials/Equipments/Tools

See attachment III

9.2) Expert

Field of Expert	Duration	Quantity
1) CNC machine	2 years	1
2) Air-conditioning and Cooler technician	3 years	1
3) Car Mechanic	3 years	1
4) Computer : Auto CAD Software expert		1

9.3) Scholarship

Course Title	Duration	Quantity
1) CNC	1 year	1
2) Car Air-conditioning	8-10 months	1
3) Building Air-conditioning	8-10 months	1
4) Cooler Air-conditioning	8-10 months	1
5) Car Mechanic	8-10 months	1
6) Car Body Mechanic	8-10 months	1
7) Car Painter	8-10 months	1
8) Heavy Mechanical Machine Repair	8-10 months	1
9) Computer (CAD)	2 years	1

Attachment I

**Requested New Training Tools/Equipments
(Ubonratchathani Institute for Skill Development)**

Machine Section

No.	Description	Unit	Note
1.	Profile Projecter with Linear Scale and computer set		

Training Tools/Machines need maintenance/repair

No.	Description	Unit	Note
1.	Adjust, examine the allignment of the accuracy of Lathe machine (Wasino Model LE-19K)	15	
2.	Repair the lubrication system of shaping machine (Hokuetu Brand)	1	
3.	Repair Universal Dividing Head (Tsudakoma Model 250-1H)	2	
4.	Repair Heat-treatment Furnace (KK-Yamada Kikai type LFM-21)		
5.	Repair Hydraulic System and Control System of Pressbrake Machine (Toyokoki Model 8520 AT 2)	1	

**Requested New Training Tools/Equipments
(Ubonratchathani Institute for Skill Development)**

Electronics/Electric Section

No.	Tool needed	Propose	Unit	Note
1	<p>Personal Computer General Specification: Main board - CPU speed 200 MHz - External Cache 256 KB - RAM 32 MB - Floppy disk drive 3.5 inches - Hard disk 1.2 GB - 10x -speed CD-ROM drive - BUS PCT & ISA - Video RAM 3D VGA 2 MB EDO - 3D stereo sound with wave table - Stereo speaker and microphone - Keyboard 104 keys - Microsoft mouse - 14 inches monitors, SVGA color, 1280x1024 resolution, low radiation - Communication port: can add a reasonable amount of peripherals - Software: WINDOWS 97 (Thai) - WINDOW 3.11 - MS-DOS 6.22, OS/2 - MS-Office (Thai) Winstone 96 (Thai)</p>	<p>To use as a teaching tool in - computer installing and repairing class - computer application classes: Microsoft Windows, Microsoft Office</p>	40	
2	<p>Printer 24 pin buffer 64 KB - speed in daft: 337 CPS - paper size: A3, A4</p>	<p>To use with computer in "Peripheral installing and repairing" classes</p>	20	

No.	Tool needed	Propose	Unit	Note
3	Scanner - Flatbed/Color and gray scale - Input: media, letter, film, A4 - Scan area size: 8.5x14 inches - Interface: SCSI	To use with computer in "Peripheral: installing and repairing" classes	5	
4	Notebooks - INTEL Pentium Pro 133 MHz - PCI BUS, memory: 16 MB - Hard disk 1.2 GB - Floppy disk drive 3.5 inches - 8x-speed CD-ROM drive - display 12.1" DSTN SVGA color 800x600 resolution - Battery: Lithium Ion - Software: WINDOW 97 (Thai)	To use as a tool in "Microsoft Office: installation and application" classes	10	
5	UPS: Continuous electric generator and spare electric when the electric shut down Input: 220V+/- 20% Output: +/- 0.5% Size: 200 VA	To use with computer in "Device installation and repairing" classes	2	
6	Autocross AP310 COM1 printer	To use with computer	15	
7	Digitizing tables for pen-based computing graphic and CAD	To use with computer drawing	15	
8	Modems external, max speed, 28800 BPS CCITT compatibility V.34 - Data compression V.42 BINS, can use as telephone	To use with computer for telecommunication	15	
9	Program for sequence control electrical circuit drawing. Mable control device able to interface the request and display the result in conjunction with computer.	To use as an advanced industrial electronic teaching medium	10 set	

No.	Tool needed	Propose	Unit	Note
10	Training Machine:		1	
11	Electrical Appliance Protection System Digital RLC Meter Measuring Resistance, Capacitor and Inductor		1	
12	Digital Tip-touch Gauge display velocity not less than 9,999 cycles/min.		2	
13	Set of Chiller Air Conditioning		1	
14	Cooling Retainer and Restorer		1	
15	Digital Real Time Oscilloscope		2	

**Requested New Training Tools/Equipments
(Ubonratchathani Institute for Skill Development)**

Construction Section

No.	Tool needed	Purpose	Note
1	<p>Computer Set for Drafting:</p> <p>1. Computer</p> <ul style="list-style-type: none"> - CPU: minimum Pentium 100 MHz - RAM: minimum 4 MB, expandable to at least 84 MB - Floppy disk drive: 5.5 inches (capacity 1.2 MB) and 3.5 inches (capacity 4.4 MB) - Super VGA color monitor-14 inches - 2 serial and 1 parallel Mouse Port - HDD: minimum capacity 500 MB - Case: Mini-Tower with 5.5" and 3.5" floppy disk drive - Software: <ul style="list-style-type: none"> - Microsoft Office - Microsoft Windows - Auto CAD - Software manuals (Thai and English) - Latest Virus protection program <p>2. Printer</p> <ul style="list-style-type: none"> - 24 pin printer - Color or Black-white printing - RAM: minimum 4 KB, expandable to at least 16 KB - Able to print on normal paper or continuous-feed paper - Fonts: must have <i>New Sor.Mor.Or. and Kaset</i> 	<p>To use for training in the following programs</p> <ul style="list-style-type: none"> - Preparation to be a construction technician - Improving the CAD drafting skill for technician. <p>There is a high demand for computer draftsmen</p>	Need 3 sets

No.	Tool needed	Purpose	Note
	3. Computer and printer table: Standard size 120x60x75 cm. 4. Chair for computer operator - Seating and reclining are made from imitation leather and sponge. Able to swivel around - Metal legs. Adjustable to 3 levels. Mobile wheels.		
2	Plotter (Size: A1) or Inkjet Plotter - Minimum paper size: A1 - Can use with rolled paper and sheeted paper - Resolution: minimum 600 dpi in color - RAM: minimum 32 MB - Color Inkjet Technology - Can draw black & white, and minimum 256 colors - Can use with Auto CAD release 12, or higher versions - Thai and English manual	1) To print the drawings that have been drawn in computer 2) To use for training in the following programs - Preparation to be a construction technician - Improving CAD drafting skill for technicians There is high demand for computer draftsmen	1 unit
3	Digitizing Table - Working area: 18x12 inches - Freehand drawing ability - Electro-magnetics technology	To use in the following training programs: - Job Preparation: Construction Controller - Skill Improvement: Architectural Drafting	1 unit
4	Scanner - Desktop: top panel - Minimum scanning size: A4 - Can scan pictures from an entire book - Resolution: 24 dpi, 16 million colors	To use in the following training programs: - Job Preparation: Construction Controller - Skill Improvement: Architectural Drafting	1 unit

No.	Tool needed	Purpose	Note
5	Bumping Plate Roller - Walk and push Roller - Power source: gasoline - Complete set of devices	To use in the following training programs: - Job Preparation: Construction Controller	1 unit
6	Pottery Oven - Size: 1x 1.20 meter - flat electrical coil - Voltage: 220	To use in the following training programs: - Job Preparation: Terra Cotta Artist	1 unit
7	Futureplates		1 unit
8	Clay Stirrer		1 unit

**Requested New Training tools/Equipments
(Ubonratchathani Institute for Skill Development)**

Automotive Section

No.	Tool needed	Purpose	Note
1	Small Agro-Tractor: 4 Turbines, Diesel Engine	To use in Agro-Mechanic course to train how to operate Tractors	2 nits
2	Paint Stirrer and accessories : 2.1 Digital Weight Measurer 2.2 Paint trial Tool 2.3 Paint stirrer and Paint	To use in painting and painter training project	
3	Motorcycle: 4 cycles, not exceeding 155 CC, hand started	To use in “motorcycle repairing” and “standard test ” training. Currently, there is no motorcycle of this type in the workshop.	2 units
4	Car: front wheel drive, Benzene engine, injection system, ABS brake	To train for engines and brake systems that are currently popular, as well as to raise the knowledge of many companies’ employees	1 unit
5	Computerized Wheel Balancer and installation tools	For modern Wheel Balancer Training. For training beginners and improving the skills of old -fashioned Car Technicians. Presently, the 4-column Wheel Balancer is broken.	1 set
6	Benzene Injection System Tester that can be used for Toyota engines and others	To improve the skill of the workers in companies, or technicians in body shops	2 sets
7	Computerized Wheel Balancer		1 unit

No.	Tool needed	Purpose	Note
8	Vacuum Air-driven Brakes		1 Unit
9	Disk Brake Grinder		1 Unit
10	Car : Benzene Injection with ABS Brakes and Automatic Gears		1 Car
11	Paint Stirrer		2 Units
12	Digital Paint Weigher		1 Unit
13	Hydraulic Pipe Bender		1 Unit

Attachment II

List of Broken Tools/Machine (Ubonratchathani Institute for Skill Development)

Machine Section

Machine Workshop

Dividing Head:	Impossible Adjustment, make many error (ENSHU) 2 sets
Shaping Machine:	Necessary adjustment of Lubricant system (HONUETSU 2 set)
Furnace:	Inside broken, spare part can not be purchased
Milling Machine:	Impossible to adjust (ENSHU)

Welding Workshop

Hydraulic Puncher:	Spring broken (SELFER)
Hydraulic Press Machine:	Impossible adjustment, lift down system (TOYO KIKI)
Spot Welding Machine:	Broken (EIW A big spot Eigh)
Electric circuit Breaker:	Broken (can not purchase spare part-1set)
Wire feed Motor:	Impossible to start (NATIONAL Pana Auto New K 350) 1 set
Engine Welder:	Broken (DAIWA EW - 120) 2 sets

Automotive Section

Agro - Car Body Workshop

Spot Welding Machine:	Broken (can not purchase spare parts EIWA)
Lift:	Trembling on lift descending, impossible adjustment (BANZAI)

Car Mechanic Workshop

Wheel Balancer:	Broken (BANZAI 6502)
Brake Drum Lathe:	Impossible adjustment shift an axis (BANZAI)
Car Lift:	Broken (can not drive)
Lift Switch:	Broken
Air Compressor:	Leaking oil (BANZAI)

Electronic/Electric Section

Electronic/Electric Workshop

Ampere Meter:	Broken, Clamp on High Tester
Gas Welder:	Broken
Soldering Iron:	Broken 3 sets
Air Compressor:	Broken 2 sets (can not purchase spare parts, DAIKIN)
Car Air-condition Simulator:	Broken 2 sets, TAKAGI Refrigerating Co. Model TTC-8805
Work Amp Pump:	Broken (TOSHIBA)
Transformer:	Broken (Aihara Electric)
Techo Meter:	New request
Car Air-conditioning 134:	New request
Digital Thermometer:	New Request
Sequence Control Panel:	Broken 20 sets (SANRITSU) (over load 1.4 Ampere model, necessary 10 A)

Construction Section

Ceramic Workshop

Three Phase Induction Motor:	Broken (HITACHI)
Pentapress Machine:	Broken (TECO) water does not circulate to pipe

Furnace: Broken (SHIMADEN) necessary to change heatline

Building Workshop

Spindle Machine: Impossible adjustment level (SHODA SP-153)

Splaying Booth: Exhaust and lighting not enough (IWATA Auto splay booth)

Aluminium Cutter: REQUEST (for Aluminium furniture)

Planning and Evaluation Section

AV Room

Can not use the AV room, because the following equipment needs repairing

Main Switch Board: Broken, JVC VIDEO Recorder 3 units (can not purchase spare parts)

Projector: Broken, ELMO CX-350 1 set

Slide Projector: Broken, ELMO Omni Graphic 550 1 set
Conference Room

Broken Microphone with speaker switch 4 sets

Attachment III

**Requested Training Materials/Equipments/Tools
(Institute for Training Personnel Development)**

No.	Description	Unit	Price/Unit	Total
1.	Amplifier for training Room (Detailed for 1 set)	3 set	200,000	600,000
	- TOA Model 7200 PA Amplifier	1	35,000	35,000
	- EV Model S-80A 2-Way Speaker	2	15,000	30,000
	- Equalizer	1	45,000	45,000
	Wireless Microphone : 1 Set			
	◆ TOA Model WT-770 Duple Channel Pree-AMP : 1 Unit			
	◆ TOA Model WTU-770 Tuner : 2 Unit			
	◆ TOA Model WM-370 Wireless Mic (Hand Held) : 1 Unit			
	◆ TOA Model WM-370 Wireless Mic (Lavalier) : 1 Unit			
	◆ TOA Model WP-760 Tuner Panel : 1 Unit	2	3,000	6,000
	◆ TOA Model YM-600 Antenna : 1 Unit	1	13,000	13,000
		1	20,000	20,000
	- SK-10 Speaker Stand (Floor Stand)	1	20,000	20,000
	- TEAC Model W-780R Tape Cassette	1	1,000	1,000
	- Audio-Video Mobile Cabinet			
	- Yamaha Model MM-1402 Mixer			
	- Microphone Stand (Floor Stand)			

**Requested Training Materials/Equipments/Tools
(Institute for Training Personnel Development)**

Construction Technology and Industrial Art Development Section

Subject	Specification	unit	Price/ unit	Total	Purpose
1. Computer	PC Computer COMPAQ 1. COMPAQ NEW PROLINEA 5/100e (DT3/3) MODEL 1060/8 MB (NO MONITOR)	13	55,200	717,600	<i>For Classes:</i> - Auto CAD Training - Computer in Construction
	2. 256 KB SECONDARY CHCHE	13	2,950	38,350	
	3. 8 MB MEMORY FOR NEW PROLINEA 5/75e	13	12,650	164,450	
	4. COMPAQ QVISION 172 ASSET MONITOR	13	31,400	408,200	
	5. CD-ROM 6X SPEED	5	3,960	19,800	
2. Plotter	5234 GT MODEL A1- Size Techlet Designer 360dpi 6 MB RAM with Floor Stand	4	128,700	514,800	<i>For Classes</i> - Auto CAD Training -Computer in Construction
3. Printer	HP LASER PRINTER : C3941A Model	8	17,480	139,840	<i>For Classes</i> - Auto CAD Training -Computer in Construction

Subject	Specification	unit	Price/ unit	Total	Purpose
4. Auto CAD Software	1. Auto CAD R.13CD without Document For DOS/Windows, For UNIX, For NT	1	59,500	59,500	
	2. Document for R.13 Manual	1	4,000	4,000	
5. Computer Table		13	2,200	28,600	
6. Computer Chair		13	1,320	17,160	
	TOTAL			2,112,300	

Note : The prices are from C D G group co. These are prices before tax (7% VAT). Therefore, the total price after tax is $2,112,300 \times 1.07 = 2,260,161$ Baht.

**Requested Training Materials/Equipment/Tools
(Institute for Training Personnel Development)**

Industrial Technology Development Section

No.	Description	Unit	Purpose
1.	Workstation computer with CAD/CAM	15 sets	for CNA Milling training course
2.	Workstation computer with CAD/CAM software	15 sets	for CNC lathe training course
3.	Workstation computer with CAD/CAM software	15 sets	for CNC WIRE Cut EDM training course

Mechanical Technology Development Section

No.	Description	Unit	Purpose
1.	Car Air-conditioning : Uses R 134-a fluid composes of - hot coil with fan - rotary compressor with magnetic clutch - cold coil with fan - container with mask - receive - dryer - othe necessary components	5	No. 1-15 request for the project of " Air-condition and Cooler Technician Trainig Centre"
2.	Fluid Pressure Gauge : For R. 134-a fluid Composes of - high-low fluid pressure gauge with 3 cords and complete set of joints	3	

No.	Description	Unit	Purpose
3.	Fluid Leakage Detector : Can be used for both R 12 fluid and R 134-a Fluid Composes of - body - Probe and cord - electrical cord connected to battery	3	
4.	Vacuum Pump : For only R 134-a fluid - Contains meter with light showing vacuum status	3	
5.	Fluid Weight Measurer - Contains meter showing the fluid weight and fluid cut-out circuit to compress a preadjusted amount of fluid into the system	2	
6.	Car Air-conditioning : Uses R 12 fluid Composes of - hot coil with fan - rotary compressor with magnetic clutch - cold coil with fan - container with mask - receiver - dryer - other necessary components	5	
7.	Fluid Pressure Gauge : For R 12 fluid Composes of - high-low fluid pressure gauge with 3 cords and complete set of joints	3	

No.	Description	Unit	Purpose
8.	Vacuum Pump : For only R 12 fluid - Stage type - 142 L/M (5 CFM) size	3	
9.	Fluid Filler into the system : For only R 134-a fluid Composes of - fluid pressure gauqe - fluid measurement gauqe - carted vacuum pump	3	
10.	Fluid Filler into the system : For only R 12 Composes of - 3 CFM vacuum - 2 stage type - 10 pound fluid container - carted vacuum pump	3	
11.	Model (for teaching) : Building airr-conditioning model and car air-condition model	1 set	
12	Digital Multi - meter	5	
13.	Digital Clip Amp	5	
14.	Copper Pipe Cutter	5	
15.	R 12 Fluid Reconditioning Machine	1	

No.	Description	Unit	Purpose
16.	Benzene Engine : 4 turbines, 4 cycles - minimum 1500 cc turbo engine - fuel injection system - electronic explosion with Oxygen detector - adhere on a mobile base - meterr scale with warning light for malfunctions - automatic gears - air conditioning	6	No. 16-26 request for the project of "Car Mechanic Training Centre"
17.	Fuel pressure gauge for Benzene engine	3	
18.	Pressure Gauge and Vacuum Gauge - minimum pressure measurement : 1 to 130 millibar - minimum vacuum gauge : 0 to 0.6 millibar	3	
19.	Portable Engine Meter - Digital - minimum velocity measurement : 300 to 9} 000 cycles/minute - minimum Dewel angle measurement : 0 to 99.9 - DC measurement : minimum 0 to 65.00 Volt	6	
20.	Benzene Turbine Pressure Gauge - minimum pressure measurement : 0-20 bar - with various type of joints	3	

No.	Description	Unit	Purpose
21.	Timing Light - minimum explosion angle prediction : 1 to 60 degrees - DC electric : 6 to 12 Volts	6	
22.	Battery Charger - DC electric : 6, 12, 24; Can help starting a car	2	
23.	Mobile Utility cabinet	6	
24.	Smoke Detector	1	
25.	Digital Multimeter	1	
26.	Models (for teaching) : consisting of various car systems models	1 set	

付属資料 8. アジア開発銀行の技能開発プロジェクト概要

TA No. 2082 - THA 31 March 1995

A. プロジェクトの背景と形成方針

本プロジェクトは、第七次国家経済社会開発計画(1992-1996)の設定されたタイ王国開発計画の枠組み中で形成された。さらに、本計画は、労働社会福祉省が初めて制定した第一次技能開発計画(1995-2001)に答えて作成された。

本プロジェクトは、技能開発サブセクターで次の課題を対象とする；

- 1) 技能訓練を受けなかった労働者及び教育を充分受けなかった人達、恵まれなかった人達と女性の中で訓練の機会に恵まれなかった人達
- 2) 訓練と企業の人材開発ニーズのミスマッチ
- 3) 現実と合わないカリキュラム、機材、材料及び指導技法
- 4) 資格を持った指導員不足
- 5) 適当でない管理及び専門的な基盤
- 6) 訓練の費用と費用の回収不足

B. プロジェクト概要

1. プロジェクトの総目的及び活動範囲

プロジェクトの総目的は貧困を緩和し、かつ経済開発を進めるための人的資源開発に寄与する事にある。特に次の

- 1) 公的な訓練システムに参加できなかった層からなる労働市場に技能を与えることによって貧困と不公平性を緩和に寄与する、そのことによって
- 2) 明確となった労働市場のニーズのために適合した技能を与えることにより生産性の向上に寄与する。

プロジェクトの範囲は、基本的には国全体であり、詳しく言えば、RISD（地域技能開発センター）と PISD（県技能開発センター）を通じて DSD の活動を発展させるものである。組織、管理システム、専門的な知識を元としたシステムを通じての組織制度作りは国家規模である。実際には、選ばれた RISD、PISD 及び開発の重要度に応じた地域の基盤整備に焦点を当てる。

2. 主な開発戦略

上記の総目的を達成するために次の主な開発戦略が提案されている

- 1) DSD の増強、計画、管理、及びモニターする組織運営管理・専門的な能力を高める事への支援。
- 2) 現在及び将来の労働技能不足に対応した技能訓練のさらなる開発への支援
- 3) 増加する企業の発展及び技能開発に於ける民間の関与への支援
- 4) 訓練と再訓練を通じて現在及び将来の社会的な不遇及び性による不公平分野に焦点を当てた支援

3. プロジェクトの計画と構造

第一の要素 組織制度作り

目的:DSD の機能、専門性、計画のためのシステム、及び労働市場のニーズをベースとして発展し、向上した技能訓練の強化と拡大のために支援する

- 1.1 制度管理の開発
- 1.2 国家技能基準システムの拡大
- 1.3 制度普及の強化 (研修計画管理、指導員育成を含む)
- 1.4 労働市場情報システムの制定
- 1.5 キャリアガイダンスシステムの制定
- 1.6 スペシャリストの研究開発プロジェクト

第二の要素 労働者の技術開発

目的:重要分野と認識されたニーズに対応した建物と設備を通じて、DSD の訓練システムの物理的能力の増加につながる支援をする

- 2.1 技能開発の中央モデル施設の創設
(モデル研修所としての NISD 拡大強化)
- 2.2 南部地域技能開発の強化
(インドネシア、マレーシア、タイの三国の国際地域センターとしてのソククラ ISD のその目的に沿った拡大強化)
- 2.3 北部地域技能開発の強化
(大メコン流域中国、ラオス、ミャンマー及びタイの四ヶ国を対象とした国際地域センターを予定されているチェンライ ISD の新設)
- 2.4 現存する訓練機材の近代化

第三の要素 技能開発に於ける民間セクターの関与推進

目的:労働者の技能開発のため DSD と民間機関との連携の制定及び実施のためのイニシアティブへの支援

- 3.1 NSDF (技能開発基金) の実施への支援
- 3.2 職業訓練支援法の実施への支援
- 3.3 スペシャリストの研究開発プロジェクト

第四の要素 訓練機会と公平性の増加

目的:労働者が必要とされている分野、女性及び甚だしく恵まれない人達への訓練を広げるためのやり方の制定

- 4.1 訓練生奨学金スキーム
- 4.2 女性の訓練参加への推進
- 4.3 性差に関する認識の高進
- 4.4 スペシャリストの調査プロジェクト

C プロジェクト実行管理ユニット (PIU : Project Implementation Unit)

DSD の中に、プロジェクト実施調整委員会を設置する。

DSD 局長は、プロジェクト期間中、DSD 総局長直下の調整委員会の元、DSD 幹部と調整する立場にある。